

FFG調査月報

MONTHLY REPORT

あなたのいちばんに。
FFG 福岡中央銀行グループ

12

2024
VOL.168

Top Interview

リックス 株式会社 代表取締役社長執行役員 安井 卓 氏

株式会社 緒方建設 代表取締役 緒方 公一 氏

中興化成工業 株式会社 代表取締役会長 兼 社長執行役員 庄野 直之 氏

大高建設 株式会社 代表取締役社長 大木 孝一郎 氏



今月の表紙

福岡中央銀行

行橋支店

今月の表紙になった支店をご紹介します!



奥野 俊哉 (おくの・りょうや)
2020年入行(行橋支店2年目)
総合営業
■趣味: 写真
■休日の過ごし方: 風景撮影や食べ歩き、温泉目的で外出



鬼松 愛莉 (おにまつ・あいり)
2024年入行(行橋支店1年目)
テラー(窓口対応)
■趣味: 美味しいお肉を食べること
■休日の過ごし方: お菓子作り

私たちが
お答えします!

Q 行橋支店の特徴は?

奥野 今年3月に移転したばかりの当行で一番新しい店舗です。以前よりも営業フロアや駐車場を広めに確保し、お客さまに快適で心地よくご相談いただけるよう工夫を凝らしております。また、太陽光発電や空調・照明負荷軽減など、地球環境の保全や環境負荷軽減に配慮した店舗です。

鬼松 新店舗で気持ちよく仕事ができています。アットホームな環境なので、毎日笑顔が絶えません。



Q 行橋はどんなところ?

奥野 自然がいっぱい입니다。今川の河川敷では春になると桜が咲き、とてもきれいです。



今川の桜(奥野撮影)

Q 行橋の名物は?

鬼松 行橋の冬の味覚といえば、大粒でプリプリの食感を持つ「豊前海^{ひんがし}粒かき」です。シーズン中は、海沿いに直売所&かき小屋もオープンします。ぜひ行橋まで足を運んで、新鮮なかきをご堪能ください。



Q 今日のお昼ご飯は?

鬼松 お母さんの愛情のこもったお弁当です。



Q 行橋のおすすめスポットは?

鬼松 「長井浜公園^{ながい はまづえん}」です。夏には、海水浴やバナナボート、SUP^{サーフ}などのマリンスポーツが楽しめます。また、カフェや宿泊施設もあるため、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめるスポットになっています。





前列右2人目が末次支店長

Q 支店での地域貢献活動を教えてください。



こすもっぺ参加メンバー記念写真(写真は2023年の様子)

奥野 支店のみんなで毎年8月に行われる「行橋夏まつりこすもっぺ」という地域のお祭りに参加しています。イベントの最後には打ち上げ花火と仕掛け花火が夜空を彩ります。今年は台風の影響により中止となったため、とても残念でした。来年開催される際には、ぜひ参加したいです。



フィナーレを飾る全長200mのナイアガラの滝



福岡中央銀行 行橋支店
住所：福岡県行橋市宮町8-22
(ハミング通り沿い)



読者にメッセージをお願いします。

鬼松 行橋はとても住みやすく、自然豊かなのでぜひお越しください。これからも行橋の地域の皆さまのお役に立てるよう、頑張つてまいります。皆さまからのご相談をお待ちしております。

奥野 行橋は北九州からも大分からも近く、交通の便がとても良い地域です。行橋支店では、「あなたのいちばんに。」をモットーに、これからも地域に一番密着した店舗を目指していきます。

懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

沖縄では 城をグスクと呼ぶ



▲勝連城跡



▲海中道路の先にある
宮城島の景勝地「果報パンタ」

●勝連城跡(あまわりパーク)

住所：
沖縄県うるま市
勝連南風原
3807-2



うるま市の丘陵地に残る勝連城跡は「按司」と呼ばれた地方の有力者「阿麻和利氏」の居城跡で、中世には東南アジア・中国・朝鮮・日本を相手に友好的な中継貿易で栄えた。1429年、琉球が尚巴志によって統一されると政治・経済の中心は首里に移り、やがて勝連城は草木に埋もれてゆく。

2000年、勝連城跡は首里城跡などとともにユネスコ世界文化遺産(※)に登録される。復元作業が進む中で、海上交易の要衝であったことを物語る諸外国の陶磁器や、ローマ・オスマン帝国時代のコインが発掘された。

城の頂上からは、南に中城湾、西には海の中を平安座島へとまっすぐ伸びる海中道路が望め、美しい海原が広がっている。空高く聳える城郭は威圧感よりも、その緩やかな曲線の優美さに魅了されてしまう。

※「琉球王国のグスク及び関連遺産群」…5つのグスクと4つの関連遺産が登録された

(文・阿井川 圭)

読者アンケートのお願い

今後のより良い誌面作りの参考とさせていただきますため、アンケートのご協力をお願い致します。



<https://prod.qlr.jp/tlmtwdxg>



今月の表紙

福岡中央銀行 行橋支店

- 2 懐かしい情景を探して
沖縄では城をグスクと呼ぶ

Top Interview

- 4 福岡銀行
リックス 株式会社
代表取締役社長執行役員 安井 卓 氏
- 10 熊本銀行
株式会社 緒方建設 代表取締役 緒方 公一 氏
- 16 十八親和銀行
中興化成工業 株式会社 代表取締役会長 兼 社長執行役員 庄野 直之 氏
- 22 福岡中央銀行
大高建設 株式会社 代表取締役社長 大木 孝一郎 氏
- 28 海外駐在員事務所が伝えるグローバルの今
ニューヨーク
- 30 地域とつながるFFG連携プロジェクト
糸島の郷土料理「そうめんちり」を未来へ。
郷土料理を通じた食文化の継承
- 32 九州企業のサステナビリティ
戸畑港運輸グループ 代表取締役会長 日向 祥剛 氏
株式会社 トータルハウジング 代表取締役 渡邊 孝太郎 氏
株式会社 高田牧場 代表取締役 高田 紳次 氏
- 44 宿泊体験レポート **NEW!**
スタジアムシティホテル長崎
- 46 お城巡り
北陸編
- 59 九州の星
国立大学法人 長崎大学 名誉教授 前学長 学長特別顧問
河野 茂 氏

バックナンバーの
お知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。





 福岡銀行

研究・開発力を更に高め

世界に向けて躍進するメーカー商社。

リックス株式会社

代表取締役社長執行役員

やすい たかし

安井卓氏

取引店／福岡銀行 本店営業部

■会社概要

創業:1907年／設立:1964年／所在地:福岡市博多区／資本金:8億2,790万円／従業員:723名(2024年3月現在)／事業内容:産業用機械の製造・販売 ■営業項目:流体応用機器・設置製造販売、精密自動・計測機器販売、製鋼副資材等販売 ■生産品目:【装置】IC樹脂バリ取り装置、金属深穴バリ取り装置、超高压水剥離洗浄装置【継手】高压ロータリージョイント、高速ロータリージョイント、高温用ロータリージョイント

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





リックス協創センター前(左から安井社長、五島頭取)

足袋から始まり創業117年

お客さまの困ったを解決し続ける

当社は、鉄鋼、自動車、電子・半導体、ゴム・タイヤ、工作機械などの製造業の生産現場で使用される設備や装置、部品、資材、消耗品などを製造・販売しています。

始まりは、1907年にブリヂストンの前身である「しまや足袋本舗」の代理店として、福岡市博多区綱場町にて創業した「山田商店」になります。その当時に最先端だった地下足袋を官営八幡製鐵所(後の日本製鐵株式会社)に納入していたことから転機を迎えます。

1943年、当時から「お客さまの困ったを解決する」ことを信条にしていた当社では、製鐵所に入りにするうちに現場での困りごとを相談いただくようになっていました。そんな中で、「(回転軸の油漏れを防ぐ)オイルシールが手に入らない、どうにかならないか」と相談されたのです。これを解決するために、オイルシールを取り扱う日本油止工業株式会社(現:NOK株式会社)と契約を結び、当時の日本製鐵株式会社 八幡製鐵所、戸畑製鐵所に各種オイルシールを納入。このような経緯から産業界への参入が始まったのです。

その後も商社として業績を伸ばしていき、

1964年には商号を山田商事株式会社と変え、法人化します。しかし商社として製品を調達するというのは、先方との駆け引きなど難しい場面が少なくありません。「いつかは自分たちで製品をつくりたい」という思いをずっと抱いてきた中で、ついに1967年、高圧油圧ポンプの製造販売を開始します。ここから商社でもあり、メーカーでもあるという「メーカー商社」としての当社の歩みが始まったのです。

グローバル展開を賭けた

東証プライム市場上場

そして社名変更へ

1969年には、回転継手メーカーの協和工業を吸収合併し、福岡工場として稼働を開始します。同時に商号を「山田興産株式会社」に変更しました。1996年には福岡証券取引所へ株式上場したのを手始めに、2008年には東京証券取引所市場第二部へ株式上場、2016年に東京証券取引所市場第一部(現:東証プライム市場)に上場しています。



5



3 1



6



4 2





安井社長

一方メーカーとしては、自社オリジナルブランド「ROCKY」の名が付いたロータリージョイントの生産において、工作機械業界向け国内シェア70%以上にまで成長しています。更に海外拠点は、中国やアメリカ、ドイツ、インドネシア、インドなど7カ国、12拠点にも及びます。東証プライム市場への上場は、国内での取引をはじめ人材採用の強みになるのはもちろんですが、海外取引においては何よりも確かな信用につながっています。

社名も世界に通用する名前にすべく、1990年に「リックス(英語名: RIX)株式会社」と改名しました。英語名のそれぞれに意味があり、「R」は当社製品のブランド名である「ROCKY」という意味に加えて、アメリカ進出において「自社製品やサービスをロッキー山脈を越えて届けたい」という思いから

付けられました。「I」は我々のお客さまである産業界の「産業」という意味のIndustry、「X」は無限の可能性を指しています。

受け継がれてきたDNAと

新たな行動指針をまとめた

『RIXing Action』

私は古河電気工業株式会社を経て2006年、妻の父が経営するリックス株式会社に入社し、2019年には代表取締役社長に就任しています。社長に就任してからさまざまな新しい取り組みを行っていますが、その中の一つに「RIXing Action」があります。これはグローバルな組織展開に伴い社員数も拡大する中で、今後の更なる成長に向けリックスグループの社風・行動理念を9つのActionとしてまとめたものです。

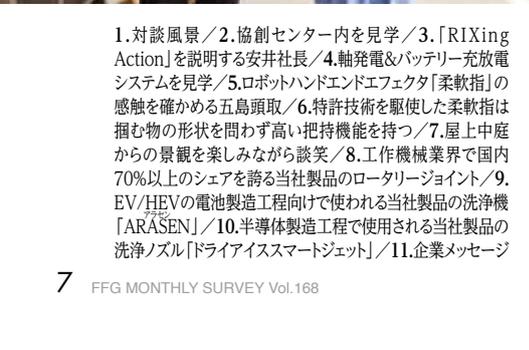
その9つのActionとは『No.1..善悪を損得に優先させよ、No.2..逃げない、No.3..一丸となって団結に徹せよ、No.4..明るく楽しく伸び伸びと、No.5..世界のお客様の伴走者であり続けること、No.6..ファミリーを発展の源泉と捉え自己実現の場を提供すること、No.7..取引先様にとって



11 9



7



8

1.対談風景/2.協創センター内を見学/3.「RIXing Action」を説明する安井社長/4.軸発電&バッテリー充放電システムを見学/5.ロボットハンドエンドエフェクタ「柔軟指」の感触を確かめる五島頭取/6.特許技術を駆使した柔軟指は掴む物の形状を問わず高い把持機能を持つ/7.屋上中庭からの景観を楽しみながら談笑/8.工作機械業界で国内70%以上のシェアを誇る当社製品のロータリージョイント/9. EV/HEVの電池製造工程向けに使われる当社製品の洗浄機「ARASEN」/10.半導体製造工程で使用される当社製品の洗浄ノズル「ドライアイススマートジェット」/11.企業メッセージ



最前列左4人目から安井社長、五島頭取、山本本店営業部長(福岡銀行)

お客様との懸け橋になること、No.8…持続可能な社会の一翼を担うこと、No.9…投資をしてくれる皆様の期待に応え続ける』です。

No.4までは、もともと当社の中のDNAとして受け継がれてきたもので、以降はグローバル企業として忘れてはならないことを私なりに考えてまとめました。この言葉は英語などに翻訳して、海外の事業所にも貼り出しています。先日訪れたインドの事業所にも、現地の言語に翻訳して貼っており、インドのスタッフも、工場の中に入り顧客密着で一生懸命に働いてくれています。その熱心さがお客さまに通じて、取引が成立した事例もあります。

世の中の進化とともに、われわれもITやAIを導入していますが、17年の歴史の中で培ってきた「お客さまの困ったを解決する」という姿勢は、今後も大切にしていきたいと思っています。

研究・開発の新たな拠点 『リックス協創センター』

更なる100年に向けて、新しい事業に向けた取り組みも始まっています。その一つが2024年11月に福岡県粕屋町にて稼働を

開始した「リックス協創センター」です。ここは当社が得意とする流体制御技術を軸とした既存の製品の枠を超えた新製品の研究・開発を目的とした施設になります。

延べ床面積3,802平方メートル、地上4階建て、組立室、実験室、計測室、設計室、クリーンルームなどを備えています。ここでは、「協創」という言葉通り顧客・仕入先・ベンチャー・大学・研究機関などをパートナーに迎え、連携しながら研究・開発に取り組みます。

これから私たちが求めていくのは、いわゆる両利きの経営である「深化と探索」。今の製品の「深化」については現在の組織でも十分対応できますが、次なるイノベーションを起こすための「探索」には自分たちだけのリソースでは足りない部分があります。施設の完成を待たずして、数社と当社の研究開発チームが一緒になって新商品の開発を始めており、実用化も見えてきています。

「2030年度までに弊社からしか販売できないオリジナル品（自社製品、グループ会社製品、専売仕入れ品）の割合を現在の3割程度から5割以上にした」と目標を掲げています。自社製品の製造を強化することで、

更なる海外での売り上げの拡大、収益性の向上を図っていききたいと考えています。

インドに新工場建設開始 ロボットベンチャーにも出資

その海外向けの戦略の一つとして、今や世界1位の人口を誇り産業の大きな発展が見込まれるインドへの工場建設を進めています。現在もインドのムンバイには営業拠点がありますが、今回は自社製品強化のための工場となります。場所は、インド南部カルナータカ州にある日本工業団地（JIT）という、まさに日本企業のための用地です。インドは日本とは文化が異なり難しい部分もありますが、現地の日系企業はもちろん、ゆくゆくは現地企業にも、販売網を広げていきたいと思っています。

また、ロボットベンチャーへの出資と共同開発も進めています。作業効率化や人材不足解消を目的に、産業界ではロボットの需要が伸びています。ロボットを活用したサービスの開発にも成功しており、これらの分野も今後成長させていきたいと思っています。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久

当社の強みは、自社製品の開発・製造という“メーカー機能”と多様なメーカー製品の取り扱いという“商社機能”を融合させた「メーカー商社」というユニークなポジショニングです。明治の創業期から続く「お客さまの“困った”を解決する」という精神と長年培ってきた技術力がそれを支えています。

東証プライム市場に上場、海外にも多くの拠点を持つ当社は、これからの100年を見据えて「リックス協創センター」を設立されました。複数の力を合わせるという意味を込めた「協創」という名前の通り、多くの英知が集まり、この福岡から世界に向けたイノベーションが生まれることを期待します。





熊本銀行

創業70周年を機に

ものづくりのプロフェッショナル

企業として「安全と笑顔あふれる

熊本の未来」を創造。

株式会社 緒方建設

代表取締役
緒方公一氏

取引店／熊本銀行 菊池支店

■会社概要

設立:1954年／所在地:熊本県菊池市／資本金:
9,800万円／従業員:85名／事業内容:総合建設
業(土木一式工事、建築一式工事、とび・土工
事、石工事、鋼構造物工事、舗装工事、しゅんせつ
工事、水道施設工事、塗装工事一級建築士事務
所)、産業廃棄物収集運搬業、宅地建物取引業

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社前(左から緒方社長、坂本頭取)

創業から70年。 建設業を中心に 生コン、住宅事業も展開

創業は1954年。「けんめいさん」と愛称で呼ばれていた私の祖父・緒方憲明が、菊池郡^{とりで}砦村(現・菊池市)で「緒方建設」を立ち上げました。1966年に法人化、1972年に現在の「株式会社緒方建設」となっています。1974年には高まるニーズを受けて、レディーミクストコンクリートの製造・販売を担う「株式会社緒方生コン」を設立。翌1975年には父・緒方一明^{かずあき}が代表取締役になりました。

1977年には資材販売および土木・塗装・法面・安全施設の施工を担う「有限会社緒方建材」、1993年には菊池市七城町メロンドーム内で農産物加工・販売を行う「有限会社砦農園」を設立。2000年には、私が3代目として代表取締役に就任しました。その後、新しい事業としては熊本市に住宅事業部「OCTASSE」^{オクタス}を立ち上げています。

公共工事で高い実績 熊本地震の復旧工事も

一貫して行ってきたのはトンネル、道路、河川、橋梁、鉄道、造成工事、下水道、農業基盤整備、排水機場、法面処理などの公共工事です。代表的なものでは、表彰いただいた工事例でいくと熊本県知事優良工事表彰を受けた五家荘^{ごかのしろう}トンネル(2013年)、熊本河川国道事務所長優良施工表彰の太田川橋下部工(2014年)、そして九州地方整備局長優良施工表彰を受けた国道57号線滝室坂洞門(2014年)と繁根木川^{はねぎがわ}護岸(2015年)、九州地方整備局長ICT工事優秀施工表彰の倉道地区改良工事(2017年)などがあります。

中でも、大きかったのが2016年4月に起きた熊本地震後の復旧工事でした。私たちは発災直後から現場に赴き復旧に携わってきました。大きく崩壊した俵山トンネルルート建設をはじめ、河川の護岸工事や治水対策、山肌が大きく崩壊した阿蘇管内治山、道路改良や路面復旧などを行ってきました。

それができるのも、今まで私たちが培ってきた豊富な経験を持つ技術者がいたからこそ。復旧現場のみならず建設工事現場というのは、



3 1



5



4 2



6



5



6



緒方社長

場所によって地形や条件が異なり、一つとして同じ現場はありません。そのため、私たちは安全を第一に、しっかりとコミュニケーションを取って対応するよう、どのような現場であっても心がけてきました。

もちろん最新の機器の導入も積極的に行っています。「TEAMOGATA」を掲げ、ドローン・3Dスキャナーを使用した着工前測量から、ICT建機による施工、施工管理、検査、納品までを自社で取り組んでいます。

熊本は、地震のみならず豪雨などの災害が多い地域です。私たちも必要とされる現場があるのであれば、いつでもすぐに対応できるように日々知識・技術の向上に努めています。また、最近は菊陽町に進出した台湾の大手半導体メーカーTSMCの子会社であるJASMC熊本工場に関連した事業も増えてきています。これらの

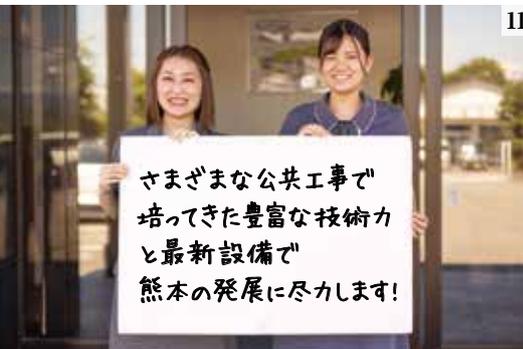
需要にも対応できるように、設備などもさらに充実させているところです。

民間・公共施設から戸建住宅まで幅広いニーズに応える

建築一式を手がける民間・公共施設工事、住宅事業も私たちが得意とするところです。熊本県知事優良工事表彰の**大津高校体育館**（2016年）、熊本県土木部建築住宅局長優良工事表彰の**総合射撃場**（2017年）と表彰を受けてきた実績もあります。他にも精密部品製造工場、菊池市ふるさと創生市民広場、小学校なども手がけています。

住宅事業部「OCTASE」は、注文住宅を手がける部門です。「お客様の想いをカタチにする家づくり」をモットーに、無理のない予算でお客様の夢を可能な限り実現する圧倒的な提案力、そして緒方建設が培ってきた確かな施工力と充実したアフターメンテナンスを大切にしています。

また、ZEHビルダーとして住まいの断熱性・省エネ性を上げる「省エネ」、太陽光発電などでエネルギーを創る「創エネ」を実現。夏は涼しく冬は暖かい、高気密高断熱の家づくりを行っています。



11 9



10



8



1.対談風景／2.緒方企業グループビジョン2033のポスター／3.4.作業現場を見学／5.株式会社緒方生コンの作業現場を見学／6.プラント前で記念撮影／7.道の駅 七城メロンドーム内に店舗を構える「とりで農園」／8.とりで農園名物のメロンソフトクリームを美食／9.緒方グループ創立記念式典での記念撮影／10.住宅事業部OCTASEのオフィス／11.法人メッセージ



左2人目から都地部長、緒方憲臣専務、緒方奨副会長、緒方公一社長、坂本頭取、富永支店長(熊本銀行)、嶋尾部長

10年後の未来に向けて 「緒方企業グループビジョン2033」 を策定

おかげさまで今年2024年5月に創業70周年を迎えました。これを一つの節目と捉え、私たちは緒方企業グループの10年後の目指すべき姿を「ビジョン」と「SDGs宣言」として、明文化・アイコン化するためのプロジェクトを立ち上げました。

集まったメンバーは年齢も部署も様々な15名です。このプロジェクトの進行「ビジョン・SDGs宣言」の策定にあたっては熊本銀行に全面的にサポートしていただき、メンバーがチームごとに分かかれワークショップなどを行いました。

その結果、策定したのが10年後に向けた「緒方企業グループビジョン2033」です。「安全と笑顔あふれる熊本の未来」をスローガンに、創業以来大切にしてきた熊本の地への愛情と、共に歩み続けてきた「ひと」への感謝を持って、安全と笑顔あふれる熊本の未来を創造していきたいという思いを込めました。

ミッションに掲げたのは「『ものづくりのプロフェッショナル』として、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進める」です。そのための

バリューとして「高い技術力を持った人材の育成」「安心安全な地域の創造」「笑顔あふれる社会の実現」を定めました。

この中で重視しているのが「高い技術力を持った人材の育成」です。高い技術力がなければ、現場で適切な判断ができません。安全を確保するには現場でのコミュニケーションが重要です。一人では、ものを作ることはできないのです。技術力の底上げができるよう、まずはコミュニケーションを取りやすい環境づくり、社内の連携ができる環境づくりが必要です。これらを達成してこそ、他の2つのバリューも達成できるのではないかと感じています。

『OGATA COMPANY GROUP FUTURE VISION 2024→2033』と題し、これらの思いを一冊にまとめたブランドブックを、2024年5月29日に開催した70周年記念式典で配布しました。社員が考えた未来を実現できるよう、私たち経営陣もしっかりとサポートしてまいります。

「熊本ブライイト企業」として 若い人が働きやすい環境を

人材育成を実現するためには、若い人材の

獲得が重要です。私たちは働く環境が厳しい建設業界の中にあつて、いち早く働き方改革に着手しました。

そこで熊本県が推進している「熊本ブライイト企業」事業に賛同し、2016年に登録しました。この事業は、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業を「ブライイト企業」として認定し、労働環境や処遇の向上や若者の県内就職を促進するものです。

2018年には「建設業 i-Construction」による生産性の向上と働き方改革」の取り組みについて「働き方改革の推進部門賞」を獲得しました。これは建設業における先端技術を取り入れ、生産性の向上により4週8休制の実現に向けての取り組みを評価いただいたものです。これらの取り組みをアピールして、若い人材の獲得につなげたいと思っています。

この夏、老朽化に伴い進めていた新しいプラントが完成しました。TSMCの進出によって熊本の公共工事もますます活発になっていきます。これらの事業に貢献できるよう、高い技術力と社員の団結力をもって、熊本の発展に尽力してまいります。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 坂本 俊宏



創業70周年を機に、グループのこれからのビジョンとSDGs宣言に向けて選抜された社員の皆さまがワークショップを重ねられ、「緒方企業グループビジョン2033」として、「安全と笑顔あふれる熊本の未来」という素晴らしいスローガンを掲げて熊本の明るい未来を創造されています。

熊本の公共インフラに関わり、特に熊本地震からの復旧においてはその技術や経験を大いに発揮されました。今後も、公共工事はもちろん公共・民間施設、住宅、そしてTSMC進出に伴う事業において、その高い技術力を持って、大きく貢献されることを期待しております。



十八親和銀行

高機能プラスチック加工技術で 多岐にわたる分野の課題を解決。

中興化成工業株式会社 庄野直之氏

代表取締役会長
兼社長執行役員

取引店／十八親和銀行福岡営業部
福岡銀行本店営業部

■会社概要

設立:1963年／所在地:東京都港区／資本金:3億円／従業員:459名(2024年4月現在)／事業内容:ふっ素樹脂・シリコン樹脂の加工製造(粘着テープ、ベルト、プリント基板、建築用屋根膜材、各種成形品、加工用素材など)／事業所:[営業拠点]東京(本社および支店)、名古屋(支店)、大阪(支店)、福岡(本部および支店)[生産拠点]長崎県松浦市・栃木県鹿沼市／グループ会社:中興ベルト株式会社、中興化成貿易(上海)有限公司、中興化成氟製品(常熟)有限公司、Chukoh Chemical(Thailand) Co.,Ltd.、株式会社協立工業

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





当社F1松浦工場前(左から庄野社長、山川頭取)

隆盛を誇った石炭産業から アメリカ力発の新事業へと転換

ふっ素樹脂加工を中心とする加工製品の製造を手がける当社ですが、その原点は石炭の採掘会社で、石炭産業全盛期当時は中堅規模の炭鉱としては全国屈指の設備と生産量を誇って「西の中興か、北の羽幌か」とも言われたそうです。

1950年代に入って石炭に替わるエネルギーとして石油が注目され始めると、炭鉱の閉山が相次ぎ、当社の前身である中興鉱業株式会社も、新たな事業の柱を模索せざるを得ない状態となりました。

現業を続けつつも、さまざまな試みに挑戦するなかで新事業の種のひとつとして取り上げたのが「ふっ素樹脂」でした。当時のアメリカでは、水道管のシールやパッキン、電線の被覆材料として広く使われていたものの、加工が難しいとされるふっ素樹脂の市場は日本にはない状況でした。国内で数社が、アメリカからの技術導入に乗り出した結果、当社も国内における草分けの一社となったのです。

新しいプラスチックであるふっ素樹脂の加工を行う別会社を設立したのが1963年。翌年には長崎県松浦市に工場が完成し、ふっ素樹脂製品の本格生産がスタートしました。衰退する

石炭産業からふっ素樹脂加工を手がける化学工業へと事業の軸足が次第に移っていき、1977年に現在の「中興化成工業株式会社」へ社名を変更しました。

現在では、松浦市のほかに栃木県鹿沼市にも工場を構え、国内主要4都市に支店を置き、中国やタイにも海外拠点を設けて、市場ニーズに応えながら製品開発や新たな用途の開拓に力を注いでいます。

高機能のふっ素樹脂には あらゆる用途がある

ふっ素樹脂は、高機能プラスチックと称されていますが、その理由は「耐熱性」「耐寒性」「非粘性」「滑り性」「耐薬品性」「絶縁性」「耐候性」の6種の特性を同時に兼ね備えているところにあります。ひとつのプラスチック樹脂がこれほど多くの特性を有するのは珍しく、ふっ素樹脂は「最後の砦の樹脂」とさえ言われているほどです。

例えば、強酸や強アルカリに触れても不純物が溶出されない「耐薬品性」の性質は半導体製造装置分野に非常に適していて、薬液容器、配管、チューブ、ウエハーキャリアなどの半導体製造装置にはふっ素樹脂製品が不可欠となって



5



3 1



6



4 2





庄野社長

います。現在の当社において半導体分野は主力事業となっており、九州の半導体産業がますます活性化しつつある今、当社の高い加工技術は、さらに同分野で求められるものになるだろうと予想しています。

また「耐候性」は屋外での強さを意味するもので、紫外線や可視光線、湿気などの影響をほとんど受けない強みがあります。ほかのプラスチックにくらべて劣化しにくく、30年以上も強度を保ち続けます。ふっ素樹脂は撥水性も兼ね備えているため、建築分野で屋根材や壁材として採用されています。東京ドーム、北京五輪メインスタジアムとなった「鳥の巣」をはじめ、J-R博多駅や同長崎駅などにも当社が開発した屋根膜材が使われています。とりわけ、ふっ素樹脂を用いたコーティング製品の分野では、当社は世界屈指の技術を有する企業であると自負しております。

社員と地元松浦への感謝を胸に

製造業というものは、技術はもちろんですが、すばらしい社員がいなければ成り立ちません。当社の社員として働くことや日常の暮らしも含めて「当社の社員で良かった」と感じてもらえることができるよう常に努めています。例えば、近年では女性の活躍促進というフレーズはすでに社会に浸透していますが、ある会合の折に知人の女医から「あなたの会社は女性活躍推進という言葉に見合った女性目線の環境を準備できていますか？」という問いかけをいただきました。なるほど、当社も十分足りていないと言えないと思います。まずは女性社員がいつでも気軽に利用できる相談窓口として、婦人科専門の女医による健康相談窓口の運用を開始しました。

すばらしい社員とともに、地元松浦への感謝も忘れてはいけません。広大な工場用地がなければ工場が建設できないことは言わずもがなのことですが、社員の衣食住を支える地元社会との共存こそ、欠かすことが出来ないエッセンスであると考えています。コロナ禍においては、全国各地と同様にこれまで当たり前であった松浦の飲食店も存続の危機に晒されました。もしも地元の飲食店が潰れてしまうことがあれば、



11 9



7



8



10



1.対談風景／2.工場眼下に広がる自然豊かな眺望(松浦市今福港)／3.社長こだわりの立派なヤシの木(工場玄関前。モチーフはサンダーバード基地とのこと)／4.工場玄関口には当社製品屋根膜材が張られている／5.6.ふっ素樹脂加工現場を見学／7.製品「チューコーフローTM粘着テープ」／8.当社の屋根膜材が採用されたJR長崎駅(提供:JRTT鉄道・運輸機構)／9.製品展示前にて記念撮影／10.「海ごみゼロウィーク2024」に参加した松浦工場社員有志／11.企業メッセージ



最前列左から上演執行役員、庄野社長、山川頭取、森田部長(十八親和銀行)

当社社員の、食の危機にも直結することになります。私は微力ながら、社員の昼食を地元飲食店へ一括注文する等の支援策を続けました。地元の方と共存共栄で何とかコロナ禍の危機を乗り越えることができたことは、今でも記憶に新しく残っています。

多くのソリューションを提供する 課題解決型企業として発展

当社が手掛けるふっ素樹脂製品の市場は半導体、通信、自動車、食品、化学、建設等々幅広い産業に広がっているとともに、その実用はチューブ、シートなどの素材から粘着テープ、ベルト、衛星放送アンテナなど実に多岐にわたります。

現在、当社にはさまざまな業界のお客さまから「自社の製品に○○という機能を持たせたい」「既存製品を改良して新たな製品を生み出したい」といった多種多様なご要望が寄せられます。私たちはこれまで培ってきたふっ素樹脂加工の高度な独自技術と経験を駆使して、お客さまの課題を解決すべく全力を傾けてきました。その結果、厚い信頼を得て、当社をさらに高みへと押し上げるご依頼が舞い込むという好循環が生まれています。

例えば、当社のシリコーンコーティング技術を施した自動車用サイドカーテンエアバックは製品の強度と薄さを兼ね備えています。もともとはお客さまより「自動車搭載の収納性を高めるため、従来の強度はそのままナイロンの薄さを追求してほしい」という難解な要望を受けたことが始まりでした。当時、試行錯誤しつつも積み重ねたノウハウを駆使して極限の薄さを実現し、求められた軽量化と省スペース化を可能にする成果を挙げました。難題に 대응するという経営姿勢とその努力がその後の事業発展につながっていったことを懐かしく思い出します。ちなみに、このエアバッグ製造に関わるコーティング装置と技術は成熟期を迎えたことから、おかげさまで2019年に有償譲渡するに至りました。

記憶に新しいところでは、当社の評判を聞きつけたJAXA（宇宙航空研究開発機構）からの指名で小型月着陸実証機「SLIM」の開発に携わることになったことです。こちらも要求水準が非常に高い仕事でしたが、10年がかりで成功に至った開発の経験は当社にとって貴重な財産となりました。日本の新しい基幹ロケットとなるH3ロケットにも当社の技術が使われており、宇宙機に採用されているという事実は、確かな自信と感慨をもたらしてくれます。

また、SDGsにも陰ながら貢献しています。

振り返ってみると、私が前職の商社から転身して当社に入社したのは1999年で、その前年に栃木の鹿沼市に生産拠点の工場が完成した時期でした。2000年代に入ると自然環境のなかで微生物の働きによって水と炭酸ガスに分解され、焼却した際でも有毒ガスが発生しない「生分解性プラスチック」の商品開発がスタートしました。現在では、当社が得意とするフィルム加工の技術を応用した「環境配慮型ゴミ袋」の実用化に成功し、数多くの全国の自治体で採用されています。

2030年を目標に ステップアップを目指す

当社は樹脂加工という強みをもとに多くの産業・分野を支える経営を展開してきました。これから先、社会にさらに必要とされる企業として飛躍するために2030年をひとつの目標とする成長戦略を策定しているところです。これまでと変わらず、あらゆる産業界の多様なニーズに真摯に向き合っていくつもりです。高機能プラスチックの秘めた可能性は、この先も豊かな実を結んでいくに違いありません。多拠点展開のメリットを最大限に活かしながら、先進的な製品開発や需要開拓に取り組んでまいります。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦



日本におけるふっ素樹脂加工のパイオニアとして独自技術に磨きをかけ続け、近年では「ものづくり日本大賞 九州経済産業局長賞」を始めとする多くの賞を受賞するなど、各界から高い評価を獲得しておられます。また、高い技術力だけでなく社員と地元松浦への感謝の意を忘れない庄野社長の経営姿勢は、企業経営を志す誰しもが深く共感できるものといえるでしょう。

これまで培った一流の技術と信頼をもとに、あらゆる産業における“なくてはならない企業”として今後益々ご発展されますことを期待しております。



福岡中央銀行

強みは「鉄骨×物流」。

地元で信頼される

物流施設建設のプロフェッショナル集団。

大高建設株式会社

代表取締役社長

大木孝一郎氏

取引店／福岡中央銀行本店営業部

■会社概要

創業・設立:1975年／所在地:福岡市博多区／
資本金:9,500万円／従業員:47名／事業内容:
建築および土木の設計並びに施工、土地および
建物の開発に関する企画およびコンサルタント
業務／関連会社:株式会社大高工務店、有限
会社大高不動産

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





大高建設

本社前(左から大木社長、荒木頭取)

地権者からの熱い要望で

会社を設立

福岡の物流拠点開発を継ぐ

創業は1975年、会社設立には一風変わった経緯があります。創業者は高崎彰一^{たかきしやういち}と、私の父で現在会長を務める大木孝朋^{おおくも たかとも}。この2人はもともと、北九州に本社があった岡崎工業株式会社（1990年に山九株式会社^{さんくう}と合併）福岡支店に勤務していました。父は建築部長、高崎氏は営業部長として、福岡市東区多の津の約20万㎡の農地を開発する大規模流通施設「福岡流通センター」の開発にあたり、農地を有する地権者の方との調整など全てを任されていました。

ところが昭和40年代後半から起きたオイルショックにより、建設業自体が立ち行かなくなりました。岡崎工業の業績が急激に悪化し、福岡支店も閉鎖。父たちも今というリストラとなり、「福岡流通センター」の開発も頓挫する形になったのです。父たちを労い、地権者の方たちが送別会を開いてくださった時のこと、「建物だけはできているけど、この先どうなるのか。全面的に協力するから自分たちで会社を

つくってほしい」

と、強く後押しさ

れたのです。父た

ちは転職先が決

まっていたのです

が、お酒の勢いも

あったのかその言

葉を聞いて「それ

なら、やってみよ

う」と決意。父の

名前の大木の「大」と、高崎の「高」を組み合わせて、「大高建設」を立ち上げたのです。

このような経緯のため、現場もそのまま引き継ぎ、創業直後から順調にスタートしました。ただ、新しい会社であるため取引先となる銀行が見つからず悩んでいたところ、福岡中央銀行（当時は正金相互銀行^{しょうきん}）からご協力をいただき今に至っています。

リーマン・ショックで苦境に

物流以外の建設にも着手

私たちは一貫して、鉄骨造の物流施設や工場など「鉄骨×物流」に強く、地元・福岡に



会社の歴史に残るビッグプロジェクト「福岡流通センター」全景



5



3



1



6



4



2



大木社長

貢献する企業としての姿勢を貫いてきました。私が入社したのが1995年、大学は法学部で、その当時は特に会社を継ごうという思いはありませんでした。

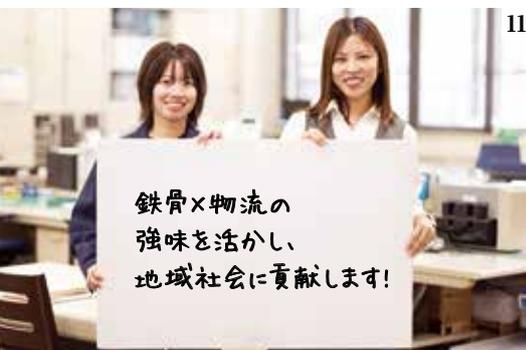
ただ就職活動をしていく中で、「どこかの会社に入って働くのであれば、私を育ててくれたこの会社で頑張りたい」と思うようになり、入社を決意。当時は業界も勢いがあつた頃でしたが、その後2008年ごろに起きたリーマン・ショック以降は、厳しい状況が続きました。建築関係全体の受注が厳しくなったことから、マンション、店舗、事務所、医療・福祉施設なども手掛けるようになりました。これらの物件は物流施設とは異なる部分も多く、特に

分譲マンションは条件がいろいろと厳しく、慣れない業界だけに戸惑うことも少なくありませんでした。

現在もご縁がある案件については受注しております。鉄骨ばかりではない、いつもとは違う店舗や施設などの施工は、社員たちにとって新鮮であり、良い刺激を受けているようです。当社が施工した中で福岡市東区の児童養護施設「和白青松園^{わくしやうせいしょうえん}」は2012年度「第25回福岡市都市景観賞大賞」ならびに「福岡県美しいまちづくり建築賞奨励賞」を受賞しています。こちらの児童養護施設は、私が所属していた社会奉仕団体を通してボランティアなどの交流があり、そのご縁で担当させていただきました。また、ご縁が深い福岡中央銀行の店舗も小倉支店や久留米支店、最近では行橋支店なども手掛けています。

好調の波に乗る九州の物流 大型案件の受注が続々

私の社長就任は2012年でした。それまでは大手企業が九州に進出し価格競争が厳しかったのですが、ちょうど地元志向が高まり、



11 9



10



8

1.対談風景／2.本社設計室を見学／3.昔使われていた建築図面を描く道具を手にする様子／4.5.6.今年の夏に竣工した株式会社ワキタハイテクさま（福岡県筑紫野市）の事務所棟を見学。集合写真の前列左端が脇田社長／7.施行実績：株式会社ジェネック 香椎浜倉庫／8.施行実績：日野出株式会社 新筑紫野センター／9.施行実績：和白青松園／10.施行実績：久留米スポーツセンター／11.企業メッセージ





前列左から徳永副社長、大木社長、荒木頭取、伊藤本店営業部長(福岡中央銀行)、後列左から西建築部長、小野寺専務、濱田常務、宮崎常務

地元の案件は地元の業者が担う形になりました。その結果、無理な受注が減り何とか赤字にはならず黒字からのスタートとなりました。

その後は九州の物流が非常に好調で、特にここ5年ほどは大型の物流施設が続々と誕生しています。私たちの受注するものも、一つ一つの案件が数十億単位と規模が大きくなっており、年々最高売上げを更新しています。

現在手掛けている案件では、首都圏や中部圏を中心に物流施設開発を行っている株式会社アスコットの「アスコット・プライム・ロジスティクス小郡新築工事」(2025年夏に竣工予定)があります。本来は全国規模の建設会社に依頼されるような大規模な案件なのですが、私たちの強みを理解いただき、「福岡なら大高だ」と声をかけていただきました。

「鉄骨×物流」にこだわり 突き抜けた強みを持つ会社に

このようなご依頼をいただくのも、私たちが愚直に「鉄骨×物流」にこだわってきた結果ではないかと思っています。私たちは常々、

「福岡県で鉄骨造の物流案件を任せるなら大高、と指名を受ける存在になりたい」と思い続けてきました。鉄骨の技術に関しては、技術提携先の日鉄エンジニアリング株式会社が独自開発したシステム建築「スタンパッケージ」を数多く採用しています。日鉄エンジニアリング経由でのご紹介も多くいただいております。

おかげさまで現在は受注が途切れることなく、今はご依頼を受けることが難しい状況にあるほどです。時には「ホームページを見た」と、飛び込みでお電話をいただきます。

九州は、熊本のTSMC進出もあり、シリコンアイランド、カーアイランドとして、しばらくは物流関連については好調が続くと思います。私たちが目指すのは、大きな会社ではなく、「突き抜けた強みを持つ会社」です。自分たちの強みをさらに特化して、「福岡なら大高だ」と言っていただけのように、さらに努めてまいります。

現場の頑張りに応える賞与人材定着への方策も

社員の頑張りに応えようと、決算時の年度

末賞与を創業以来続けています。昨年度は業績が良く、かなりの金額を分配することができました。現場の頑張りというのは売上げに直結するので、やりがいにつながってくれたらと思っています。

また、いわゆる「2024年問題」によって、残業時間上限が規制されました。そのため本社の「工務部」を拡充し、現場の業務の一部を本社で担う取り組みを始めています。こちらには女性社員を多く配置していますが、今後は女性の技術者の雇用も増やしていけたらと思っています。

現場は、経験豊富な50代の社員がいるので安心していきます。彼らが現役のうちに、下の世代を育成できたらと思っています。どうしても20代、30代が少なく、定着しないことが課題です。一級建築士や一級建築施工管理技士などの資格を取得すると定着率が良いことから、現在の資格取得の費用のサポートに加えて、資格取得のための学校の授業料の費用なども会社が負担できればと考えているところです。今後も技術力の向上と人材育成に力を注いでまいります。

■ インタビューを終えて

福岡中央銀行 取締役頭取 荒木 英二

福岡中央銀行がまだ「正金相互銀行」だった頃からのお付き合いになります。「福岡流通センター」の開発を手始めに、最近では物流関連の進出が著しい福岡県小郡市に開発中の「アスコット・プライム・ロジスティクス小郡新築工事」を手掛けられるなど、鉄骨造の物流関連施設の建設においては絶大な信頼を得ておられます。

九州全体の物流がさらに活発になる中、当社がこれまで培ってこられた確かな技術力により、その需要はますます高まるものと思われまます。当社のさらなる活躍に期待をいたしております。





海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

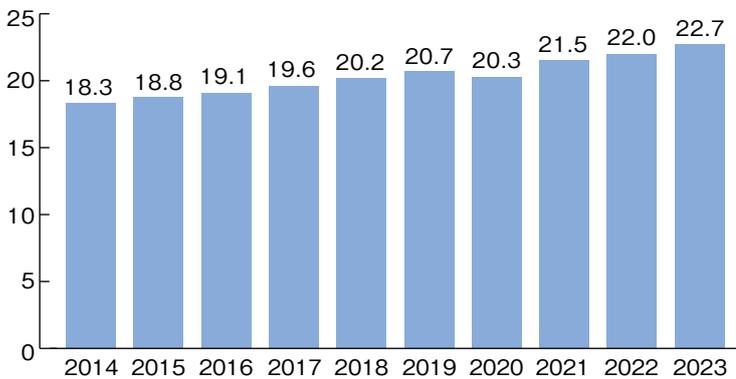
FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。今回、ニューヨーク駐在員事務所の大理所長に現地の情報やビジネスについて伺いました。

Question 1

現地の状況について
教えてください

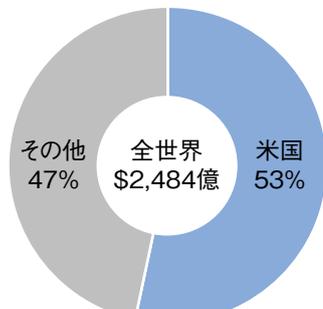
A アメリカのGDPは世界の約1/4を占め、その規模は年間おおむね2〜3%の成長を続けています(図1)。この経済成長を支える大きな要因の一つが、「イノベーション」です。アメリカにはシリコンバレーを代表とした、起業家・研究機関・投資家が集積する

図1: 米国実質GDPの推移(単位: 兆ドル)



出典: 米国商務省経済分析局の統計より当行作成

図3: スタートアップへの投資額



出典: State of Ventures 2023より
当行作成

図2: 国別スタートアップ数

国	スタートアップ数
米国	129,520
中国	32,031
英国	21,278
フランス	13,318
インド	12,551
ドイツ	10,030
韓国	8,998
日本	6,189

出典: 内閣府 グローバル・スタートアップ・キャンパス構想に関する調査資料より
当行作成

拠点があり、そこからGoogleやAppleといった、革新的なスタートアップが誕生しています。こうした企業が新たな技術やサービスを次々と生み出し、世の中に大きなインパクトを与えています。日本でも政府の支援等を背景に、スタートアップの数は増加傾向にあります。アメリカの数は他国と比べ圧倒的です(図2)。また、スタートアップへの投資に関

Question 2

現地でのイベントの様子を教えてください

しても、アメリカは世界の半数以上を占めています(図3)。こうしたイノベーションを促進する土壌が、アメリカ経済の成長を後押ししているのです。

A こうしたイノベーションに注目が集まる中、アメリカでは関連したイベントも数多く開催されています。今回はその一つ、CES (Consumer Electronic Show) を紹介します。
CESとは?
CESは1967年に家電見本市として初開催され、現在では、最新のトレンドが把握できる世界最大級のテクノロジーイベントとなっています(写真1)。毎年1月上旬にラスベガスで開催され、2024年は、世界中から延べ13万5千人の来場者と、4,000社以上の企業が参加し、その注目度は年々高まっています。(写真2)。

写真2:CES会場の様子(会場内)



写真1:CES会場の様子(外観)



A I (人工知能)、モビリティ、ヘルスケア、VR / AR (仮想現実 / 拡張現実) など様々な分野において、世界中の有名企業が展示を行う中、日本からは、電機

写真3:日本のスタートアップのブース



メーカーや自動車メーカーといった大手企業が参加し、自社の新製品や最新テクノロジーの紹介を行いました。大企業の他にも、約60のスタートアップや中小企業も出展し、それぞれのブースには、革新的な製品・サービスを求め多くの人が集まり、日本のエリアは活気に満ちていました(写真3)。さらに、優れた技術やデザインを表彰する「Innovation Award」に日本のスタートアップ6社が受賞するなど、世界に日本の存在感を示すイベントとなりました。
なお、2025年の開催は1月7日から10日までの予定です。

Question 3

**海外ビジネスを目指す
お客さまへメッセージを
願います**

A アメリカは先進国の中で珍しく、人口が増加している事に加え、イノベーションや企業の新陳代謝により、今後も市場の拡大が見込まれます。こうした環境を求め、多くの企業がアメリカに集まり、競争は厳しいですが、その分大きなビジネスチャンスがあるように思います。

福岡銀行ニューヨーク駐在員事務所では、アメリカへ進出を希望されるお客さまへ、現地情報の提供、弁護士等の専門家やコンサルティング会社の紹介といったサポートを行っている他、CESのようなイベントに参加し、最新テクノロジーやサービスの調査も実施しています。アメリカ進出や現地情報・最新トレンド等に興味がありましたら、是非ご相談ください。



**現地のおすすめや
過ごし方を
ご紹介ください**

アメリカでは、夏が終わる10月に入ると、カボチャや不気味なグッズがお店に並び、レストランや家々もガイコツやお化けの飾りつけを始め、街中が一気にハロウィンムードとなります。郊外の農場では、飾りつけ用のカボチャを販売するパンプキンパッチ(カボチャ狩り)が行われ、秋の風物詩となっています(写真4)。この時期にアメリカへお越しの際は、本場のハロウィンを体験してみたいかがでしょうか。

写真4:パンプキンパッチ



地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、糸島市の地元事業者と連携した郷土料理「そうめんちり」の復興と継承に向けた取組みについてご紹介いたします。

糸島市



糸島の郷土料理「そうめんちり」を未来へ。郷土料理を通じた食文化の継承



そうめんちり



糸島郷土料理研究会

糸島食のわくわく協議会

役割	会社名
事務局	糸島市
会長	株式会社やますえ
副会長	富士食品株式会社
監事	福岡銀行
幹事	五洋食品産業株式会社
幹事	株式会社Carna
幹事	糸島農業協同組合
幹事	糸島漁業協同組合
幹事	糸島市商工会

福岡県西部にある糸島市は、北側に広がる美しい玄界灘と南側の豊かな背振山系に囲まれた自然溢れる地域です。古代から「伊都国」と呼ばれていたこの地は、深い歴史を持つことでも知られています。現在では、その美しい自然環境と四季折々の美味しい食べ物、そしてお洒落なカフェなどが人気で、一年中多くの観光客が訪れています。また、「糸島ブランド」として知られる新鮮な食材は、農産物から海産物、伝統的な製法で作られた醤油やお酒まで、幅広く揃っています。

そんな糸島市で昔から親しまれてきた郷土料理が「そうめんちり」です。そうめんちりとは、親鶏をじっくり水炊きにし、醤油ベースの甘辛いスープを作って、季節の野菜などを入れた鍋（ちり）を作

り、素麺と一緒にいただく料理で、昔から盆や正月、地域行事などが集まる時のご馳走として、親しまれてきた糸島の郷土料理です。しかしながら、郷土料理のルーツは明らかになっておらず、文献資料も少ない上、味付けや食材は地区や家庭によって異なっています。また、時代の変化とともに、郷土料理という食文化が希薄化し、市内で郷土料理を振舞う飲食店はなく、認知度も低下している状況です。そこで糸島市で約200年以上続く農家の株式会社弥富農園やとみのうえんが中心となり、市内事業者とも連携し、郷土料理の復興と継承に向けた取組みを行っています。

その取組みの一環として、郷土料理復興のために発足された糸島郷土料理研究会や糸島市内の



食品関連事業者で構成される糸島食のわくわく協議会（以下、「協議会」）が連携し、そうめんちりを糸島の新しいお土産とするべく、商品開発を進めてきました。

商品企画においては、郷土料理の歴史や地域ごとの特徴、代々受け継がれてきたレシピ等を調査し、郷土料理の「原点の味」を追求しました。その「原点の味」を目指すべく、食材は、糸島産や無添加の調味料を使用することにこだわり、弥富農園の葉ねぎとともに、協議会の参画事業者であるJA糸島産直市場伊都彩菜の糸島産小麦100%「まるいとそうめん」や有限会社北伊醤油の添加物不使用の醤油を使用し、完成した商品が「冷凍そうめんちり」です。

また、郷土料理を通じて糸島の食文化を広く発信し認知を高めることを目的に、クラウドファン



クラウドファンディングページ



返礼品の一例

ディング（以下、「CF」）に挑戦しました。返礼品には今回開発した冷凍そうめんちりに加え、協議会事業者の商品を取り揃えた各種協議会セットを準備しました。結果的に糸島市内だけでなく全国的に支援者の輪が広がり、達成率188%（12/6時点）と目標を超過達成することができました。今後は、JA糸島産直市場伊都彩菜や各種ECサイトで販売するとともに、糸島市内の飲食店でも提供できるように、活動の輪を広げていく予定です。

FFGでは地域総合商社事業を手掛けるiBankマーケティングと連携し、新商品開発や販売促進に資する取組みを支援する補助制度「九州Re-Branding Fund（※）」を活用し、CFに係る事業全体の取りまとめや、ページ制作、商品の写真撮影等をサポートしました。

郷土料理を通じて、糸島の食の歴史や文化を広く伝え、その価値を再認識することで、次世代に受け継がれていくことを期待しています。

今後もFFGは、お取引先の業績に貢献する取組み（本業支援）や、地域の課題解決・活性化に繋がる取組みを行ってまいります。

※九州Re-Branding Fund

総額1,000万円を上限に、iBank社が提供する「ブランドینگサポート」に必要な費用の5割を、FFGのお取引先かつ九州及び山口県内の事業者の皆さまに資金補助する制度。地域事業者の自社ブランドの強化や新商品開発、販売促進に資する取組みを支援する制度。



CFページはこちら

（CF期間は12/15で終了）



福岡銀行 地域共創部 鶴原
【お問い合わせ】092-723-2254

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

地方創生に関するお悩みをご相談ください

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア



- 観光振興
- 産業振興
- 教育文化芸術
- まちづくり
- エネルギー
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDG5コンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

とばたこううんゆ
戸畑港運輸グループ

代表取締役会長

ひめうがしゅうごう
日向 祥剛氏

取引店／福岡銀行 戸畑支店

鉄鋼の街・北九州市を支える総合物流サービス企業

港湾荷役から運送まで
一貫したサービスを提供

当グループは1922年7月に日向安吉が合資会社丸加回漕店まるかかいそうてんを福岡県若松市（現在の北九州市若松区）に設立し創業しました。創業当時は船舶回漕業とともに港湾荷役に携わり、石炭を主な取扱品として物流サービスを展開していました。その後日本製鉄株式会社が八幡地区から戸畑地区へ工場を移転したことを機に、

1958年戸畑港へ進出し、いくつかの会社を吸収合併して新たに戸畑港運輸株式会社を設立しました。

石炭荷役の斜陽化とともに、移り変わる顧客のニーズに対応する形で事業の内容を変化させ、現在当グループは港湾荷役から倉庫保管、運送まで一貫した物流サービスを提供しています。響灘地区・洞海地区・小倉地区にて運用する倉庫は主なものだけでも40棟を超え、製鉄関連の原材料や鋼材から日用品まで取り扱い、港湾荷役・



戸畑港運輸株式会社 堺川作業所



戸畑港運輸株式会社 本社



2024年9月竣工 戸畑物流株式会社 西港センター

保管・運送を合わせた貨物取扱量は年間100万トンを超えるまで成長しています。

また当グループは、大手製鉄会社を主要取引先に洞海地区で事業を展開する戸畑港運輸株式会社、物流センターを保有し小倉地区で営業する戸畑物流株式会社の2社を中核として、不動産を管理する戸畑興産株式会社と太陽光発電

による売電事業を行う戸畑自然エネルギー株式会社の4社で構成され、それぞれの会社が自社の役割を果たしながら事業を行っています。

総床面積4万6千㎡の

マルチテナント型物流センター

「西港センター」を竣工

戸畑物流株式会社では2024年9月、小倉地区の西港に当グループの第2号となる物流センターを竣工しました。

本物流センターは鉄骨2階建てで、2階はスロープからトラックが直接乗り入れて搬出入が可能となっています。またマルチテナント型の物流施設であり、複数のテナントで1棟の倉庫を共有するシステムを採用しています。契約する事業者が自由にレイアウトできるようにそれぞれのフロアを広く設計した造りで、快適な作業環境が整った大型倉庫を利用したい物流業者にとって最適なシステムとなっています。

施設は北九州都市高速道路の日明ランプから約1キロに立地しており、北九州市と山口県下関市を新たに結ぶ「下関北九州道路」計画のルートにも近く、物流拠点としてのポテンシャルは非常に高いと思われます。北九州市における



2024年9月 戸畑物流株式会社 西港センター竣工式(中央:日向祥剛戸畑港運輸株式会社社長、右から3人目:野中宏之福岡銀行常務執行役員)

物流センターとしては最大規模となり、今後当グループの中核となる施設と期待しています。

脱炭素社会の実現への貢献と 社員の安全や生活を守る取り組み

物流サービスでは大量のエネルギーを消費します。そのうえ危険を伴う作業も多いため、常に環境に配慮した事業活動を行うとともに、社員が安全で働きやすい環境を整えることが重要です。

広大な倉庫の屋根を活用し 再生可能エネルギーを供給

当グループで保有している倉庫は、主なものだけでも合計で6万6千㎡以上の床面積と、ざっと東京ドーム1.4個分相当になります。当グループは倉庫などで使用する電力量を可能な限り抑えながら、この広大な倉庫の屋根に太陽光発電設備を設置して再生可能エネルギーの供給を行っています。野立ても含めると、設置した太陽光発電パネルの発電容量は約5,800kW、年間の発電量は一般家庭の約1,400世帯分に相当します。



戸畑物流株式会社 戸畑物流センター

スローガン「ルールを守る職場の定着 相互注意で目指すゼロ災害達成」

取り扱う貨物の中には、重さ数トンのコイルなども含まれます。重量物を運んだり運送する作業は常に危険が伴うため、当グループでは社員の安全と業務の品質を最優先にする意識を向上させるとともに、あらゆるリスクを低減するための活動(取り組み)を施策として取り決め、

毎月勉強会を実施して実施状況をチェックしています。

働きやすい職場環境を整える

近年物流業界では人手不足が深刻化しつつありますが、当グループでは幸いにも社員に恵まれており、現時点では支障なく業務運営ができています。しかし会社の持続可能性を高めるためには、さらに社員から選ばれる、魅力のある職場づくりが肝要です。社員のスキルアップ支援や、時間外労働の削減、休暇が取得しやすい環境の整備、女性が働きやすい職場環境の整備他、すべて意識して取り組んでいます。今後も常に改善点を探し、対応・発展させていくことが大事だと思っています。

地元北九州とともに発展していく

北九州市では、陸・海・空の結節拠点周辺エリアを中心に物流関連施設の集積を図り、また多種多様な物流ニーズと時代の変化に対応できる街を目指して「北九州市物流拠点構想」を策定

しています。構想では現在北九州市が抱える物流課題の解消に向け9つの施策の柱を設定しており、そのどれもが当グループが現在実施している施策そのものです。

当グループは若松で生まれ、戸畑で育った物流企業です。今後も様々な社会貢献活動を行いながら、鉄鋼の街・北九州市の経済発展を支え、ともに成長・発展していきたいと思っております。

サステナブル ファイナンスを活用

2024年5月、物流センター建設のための資金調達として(FFG)ポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用しました。

本ファイナンスは当グループの事業活動やサステナビリティの取り組み、活動目標などを銀行が整理・評価し、融資実行と同時に評価書として発行していただく融資商品です。

融資実行後も状況を銀行へ報告のうえ、当グループのサステナビリティの取り組みについて伴走支援いただくこととなりますが、当グループが今後もますます成長・発展できるように、しっかりとフォローしてくださることを期待しています。



(FFG)ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈(左から日向祥隆戸畑港運輸株式会社社長、日向祥剛戸畑港運輸株式会社会長、関塚幸太郎福岡銀行戸畑支店長、日向啓剛戸畑物流株式会社副社長)

戸畑港運輸グループ

〈本社〉 〒804-0071 北九州市戸畑区川代二丁目4番1号 093-871-1721 (4社共通)

- 戸畑港運輸株式会社 / 港湾運送業、貨物自動車運送業、鉄道貨物取扱業、倉庫業、不動産賃貸業、船舶代理店業、発電業
- 戸畑物流株式会社 / 貨物自動車運送業、倉庫業、不動産賃貸業、発電業
- 戸畑興産株式会社 / 不動産賃貸業、発電業
- 戸畑自然エネルギー株式会社 / 発電業

〈主な事業所〉

- 戸畑物流株式会社・西港センター 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町9番3号 093-562-1800



FFGでは企業のESG/SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ: TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDG5コンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社

トータルハウジング

代表取締役

わた なべ

渡邊 孝太郎氏

取引店／熊本銀行 鹿児島支店

「安心・安全・感動する家」
ツゥバイフォー住宅建築専門のハウスメーカー

人が生活するのに必要な

衣・食・住のうち

食・住に関する事業を展開

当社は1991年に鹿児島県鹿児島市で注文

住宅の建築専門会社として創業しました。創業

後まもなくツゥバイフォー工法による住宅建築

を始め、現在では本社を含め8拠点を設置、ツゥ

バイフォー工法による建築住宅の供給戸数は鹿

児島県においてNO.1を誇ります。

また関連会社が3社あり、在来の木造軸組工法による住宅建築を行う株式会社感動、住宅のリフォーム事業を行う株式会社孝匠、またフランチャイズの飲食店を展開する株式会社食物語にて事業を展開しています。



上段:右から本社ビル、谷山支店、霧島支店、始良支店／下段:右から鹿屋支店、薩摩川内支店、南薩支店、都城支店

独自の技術・ルールにより

耐震性・耐火性に優れ、
かつ高气密・高断熱による
高い環境性能を実現

当社でつくる家はツーバイフォー工法の元々の特長に当社独自の技術やルールを加え、より高い安全性や環境性能を有しています。

ツーバイフォー工法による建築の場合、家全体がモノコック構造（一体構造）になります。地震や台風などによる外部からの力を受けた場合、力や過重を1箇所に集中させることなく家全体で受け止めるため揺れを抑え、高い耐震性を実現します。また床・壁などが火の通り道を遮断することにより高い耐火性も実現しています。その性能は、災害時に拠点となる消防署や警察署などと同じ耐震等級3の基準を満たし、当社で建築した家は長期優良住宅や住宅性能評価制度の評価を取得しています。

また当社は通常高气密住宅として求められるよりさらに高い気密値基準を設け、通常の高気密住宅の2倍以上の気密性を実現しています。他にも当社独自の技術やルールを設けており、断熱性能も相まって環境性能に大変優れた家を提供しています。

トータルハウジングの平屋

当社は安心・安全な家であることに加え、住みやすく、快適な家づくりを追求しています。デザインや設計は建築する土地の形状や要望に合わせて、お客さまの納得がいくまで打ち合わせを重ねて決定します。



株式会社トータルハウジングの平屋デザイン（一例）

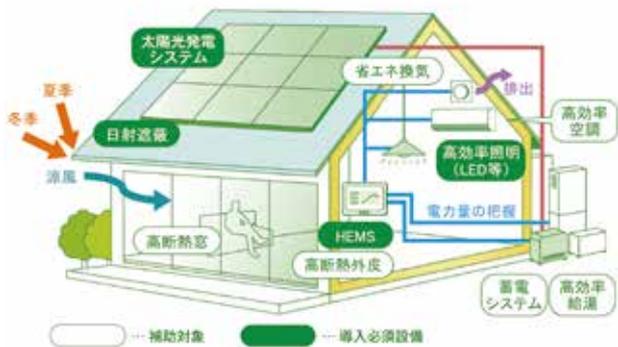
打ち合わせの際、当社が多くのお客さまへご提案するのは平屋の家です。平屋住宅は近年人気が高まっており、特に鹿児島県では建築実績の50%以上が平屋です。日本古来の平屋住宅のイメージとは異なり、ロフトを作り1階建ての中で空間を縦に使うなど、様々な工夫が可能となっています。

平屋の家は階段がないため建築面積のロスが少なく、掃除がしやすい、ライフスタイルに合わせた動線を確保しやすい、天井高を高く開放的な空間を作りやすいなど、住みやすさ・快適さにおいて様々なメリットがあります。

加えて、構造がシンプルになるため耐震性においても優れており、また建物が高いメンテナンスにかかる費用が少なく、屋根面積が広く太陽光発電パネルの設置面積が広くとれるなど、環境面でも非常に優れています。

感動の家づくり

当社は経営理念に「感動の家づくり」を掲げています。その前提として心掛けているのが「おもてなしと気づきの精神」です。お客さまの要望に即応することは当然として「じっくりとお客さまの話の伺い、細やかな部分に耳を澄ませてお客



ZEHへの取り組み

環境に配慮するとともに 社会貢献・地域経済の発展を目指す

さまの心の声を察知する「感性を持つ」というスタンスを大切にしています。
完成した家を見て感動いただき、長年住んでもその感動が維持される、そんな家を提供していきたいと思っています。

ZEHとは
ネット・エネルギー・ゼロ・ハウス
の略で、外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により室内環境の質を維持しつつ、大幅な省エネルギーを実現した上で再生



鹿児島県南九州市穎娃町 太陽光発電所

可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅です。

ZEHはエネルギー消費を抑えて脱炭素社会の実現に貢献するとともに、経済性や快適性・健康性に優れ、さらに災害発生時の停電などにも強いなど、様々なメリットがあります。当社は①高効率な住宅設備・照明設備、断熱性能の高い樹脂サッシの採用による「省エネ」、②太陽光発電システム搭載による「創エネ」、③HEMS(ホームエネルギー・マネジメントシステム)によるエネルギーの

「見える化」、以上の3点の取り組みで先進的なゼロエネルギーハウスの実現を目指しています。
また当社ではほかにも脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、鹿児島県南九州市穎娃町に約800kWの太陽光発電パネルを設置して電力発電・供給を行っています。本発電所では一般的な家庭の約200世帯分の年間電力量を発電し、供給しています。

持続可能な社会を目指して

鹿児島県の人口は、1955年の204万人をピークとして2023年には155万人へ減少しており、今後も減少していくことが予想されています。引き続き地域社会が発展していくためには、魅力のある街づくりと新たな雇用を創出することが肝要だと思っています。

当社の社名は「家づくりに関するすべてのサービスを提供する」ことから名付けました。その社名の通り、我々は人々へ安心・安全で且ついつまでも住み続けられる家を提供したい。そのうえで自社が発展することで新たな雇用を生み出しながら、魅力的な街づくりに貢献したい。それが、ひいては自社の発展にもつながり、さらに地域社会が発展していく。そんな好循環を目指しています。

サステナブルファイナンスを活用

2024年9月に取引いただいている熊本銀行にてFFGのポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用しました。この融資商品は当社の事業



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈
 (左から渡邊孝太郎社長、熊本銀行鹿児島支店 渡邊耕助支店長)

活動やサステナビリティへの取り組みを整理・分析・評価していただき、融資実行と同時に評価書を発行、ホームページなどで公開するというものです。評価書の詳細はホームページなどで確認いただけると幸いです。

評価していた
 だく際、今後の活動目標も新たに設定しています。目標に対する進捗について銀行に
 伴走支援していただくこととなりますが、取引
 いただいている熊本銀行には当社の
 持続可能性を高めるため、また地域経済の発展のため、しっかりと
 フォロー・ご指導をお願いしたいと思います。

株式会社 トータルハウジング

- 本社所在地：〒890-0032 鹿児島市西陵三丁目28-22 トータルハウジング8ビル
- 電話番号：099-210-5120
- 事業内容：注文住宅の設計・施工・販売（ツーバイフォー住宅を専門として提供）



〈関連会社〉

- 株式会社8ホールディングス／持株会社
- 株式会社感動／注文住宅の設計・施工・販売（在来軸組工法を専門として提供）
- 株式会社食物語／フランチャイズによる飲食店経営（6ブランド・全21店舗）
 〒890-0032 鹿児島市西陵三丁目28-22 トータルハウジング8ビル（3社共通）
- 株式会社孝匠（再生工房 タカショー）／リフォーム、基礎、外構工事
 〒891-0113 鹿児島市東谷山七丁目23-12

FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
 チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
 営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
 ■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
 関することは
 何でもご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDG5コンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社 高田牧場

代表取締役

高田 紳次氏

取引店／十八親和銀行 有家支店

「牛と共に（人牛一体）」

長崎県内唯一の褐毛和種肥育業者

当社は創業者である高田俊男が1970年に長崎県南島原市にて個人創業し、数頭の肉用牛肥育を開始しました。創業当時は1頭ずつ牛を柵の中に囲い管理をしていましたが、肥育経営から繁殖・肥育の一貫経営への体制変化や牛舎の新設等を行ってきました。2006年に私が代表取締役に就任した際には肥育頭数が350頭でしたが、現在では1,000頭以上の肥育頭数まで

拡大しました。黒毛和種・褐毛和種・交雑種などの多様な品種を飼養して、一般肥育や老廃肥育など素牛の状態に応じた生産方式を採ることで多彩な牛肉を生産しています。長崎、福岡、熊本などのスーパーやレストランに年間400頭の自社ブランドである「雲仙和牛」「雲仙あか牛」を出荷しています。現在では、長崎県内唯一の褐毛和種を肥育する事業者となりました。

当社は創業者から受け継いだ「牛と共に（人牛一体）」を経営のテーマに掲げて、手と目と愛情



褐毛和種

をかけて、牛が健康に育つ快適な環境づくりに全力で取り組んでいます。当社の従業員はただの作業員ではなく、日々牛と向き合い「どうしたら牛の能力を100%まで引き上げられるだろうか」と試行錯誤しながら働いています。徹底的に牛と向き合う姿勢が、私たち高田牧場の強みでもあります。大切に育てた牛は、安心安全で脂がさっぱりとした肉の味がしっかりと味わえる高品質な肉となっています。

安心安全はもちろんのこと、この長崎県の南島原市から褐牛・和牛を通して地域の発展と元氣や活力が生まれてくれることを思い一生懸命邁進していきます。

安心安全な牛を提供

当社は長崎県南島原市の中心にある雲仙普賢岳の麓にあります。また、なだらかな地形に位置して、日当たりも良く、有明海から吹き上がる潮風が通り抜けるという自然環境にあります。

広大な敷地に、風通しの良いゆつたりとした高い天井の牛舎を設けて、より良い牛を肥育するためにストレスのない環境づくりを徹底しています。さらに牛が消化しやすいブレンド餌を使用することや、ICTを活用したスマート畜産を実践

することで牛の健康管理チェックを厳密に行って安全な牛の提供を可能にしています。

他にも牛舎敷料には一般的におがくずや稲わらが利用されていますが、当社独自の取り組みとして地元きこの工場の菌床を一部再利用しています。

今後も衛生管理を向上させて安心安全な牛を提供するために、2020年に認証取得している農場HACCP推進農場の再取得を目指しています。

環境問題に配慮した経営

農業・畜産業は牛のげつぷや水田から排出されるCH₄の化学肥料や堆肥製造から排出されるNO_xなど、CO₂以外の温室効果ガスとも関係が深いという特徴があります。

当社では2022年にTMRセンターを新設して、牛のげつぷから排出されるCH₄を抑制するために、牛が消化しやすい独自のブレンド餌を製造しています。また餌の原料にもこだわり、地元きこの工場の菌床や、熊本県産のおから、佐賀県産の麦焼酎粕など九州産原料の再利用を行っています。廃棄予定のものを飼料として使用することで、エネルギーの循環型社会の構築に貢献しています。

さらに当社では家畜排せつ物の堆肥化についても、従業員の手作業によって堆肥舎で徹底した温度管理・保管を行い100%再利用しています。今後の肥育頭数の増加への対応や従業員の作業軽減を図るために、現在スクリー式攪拌発酵機を導入した新堆肥舎を増設しています。



TMRセンター内観

ダイバーシティ実現に向けた活動

当社では経理総務部が中心となって労働環境改善の取り組みを行っています。時間外労働などの各種規程を遵守することによって、全従業員が働きやすい職場環境を構築しています。従業員の中には勤続20年超の雇用者や60歳以上の雇用者なども在籍していて、一定の評価を従業員からも得られていると自負しています。

また外国人就業者についても、2012年にインドネシア人の技能実習生の受け入れを開始して、2024年には特定技能外国人の受け入れを行っています。

社会貢献・地域活性化活動

当社では事業を通じて、様々な地域活動に参加して、社会貢献・地域活性化活動に積極的に取り組んでいます。

長崎県内の大学農学部 of 農家等派遣研修受け入れや地元保育園の給食に当社の牛肉の寄付などを行っています。他にも当社の牛などを保育園に連れていき、子供たちとの触れ合いの場を設けることもしています。

今後も当社の成長と同様に長崎県内経済の

活性化、畜産業界の発展を目指していきます。

サステナブルファイナンス

十八親和銀行の「FFG」ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を利用

2024年8月に取引いただいている十八親和銀行有家支店にて、サステナブルファイナンス（FFG）ポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用いたしました。

本ファイナンスは、FFG独自のESG／SDGs評価サーベイス「Sustainable Scale Index」による評価結果や国際的なインパクト算定ツールを基に対話を重ね、当社の活動が環境・社会・経済に与えるポジティブならびにネガティブな影響を分析・特定し、ネガティブな効果を低減しながらポジティブな効果を増大（KPIを設定）させることで、当社の持続的な成長につながるよう、十八親和銀行が中長期的な伴走支援を行う商品です。作成いただいた評価書は、当社ホームページ・十八親和銀行のホームページで確認できますので、ご覧いただければ幸いです。



高田紳次社長

（FFG）ポジティブ・インパクト・ファイナンスでは、サステナビリティに関する目標を設定する必要があるりましたが、当社では「肥育頭数を250頭増加させる」、「農場HACCP推進農場を取得する」、「Nぴか認証を取得する」、「取引業者を10先増加させる」などの8つの目標を設定しました。こちらの目標を社内勉強会を通じて社員一丸となって取り組んでいきたいと考えております。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈(左から 高田社長、十八親和銀行有家支店 富永支店長)

株式会社 高田牧場

■本社所在地：〒859-2203 長崎県南島原市有家町尾上3890

■電話番号：0957-82-5502

■事業内容：肉用牛肥育事業



FFGでは企業のESG/SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください

宿泊体験レポート



Accommodation experience report

スタジアムシティホテル長崎

サッカースタジアムを中心に、アリーナ・ホテル・商業施設・オフィスを構える大型複合施設「長崎スタジアムシティ」が10月14日に開業しました。これら落としたとなった福山雅治フリーライブと開業の高揚感が冷めやらぬ15日、日本初のサッカースタジアムビューホテルであるスタジアムシティホテル長崎の宿泊体験に臨みました。

ホテルロビー（筆者撮影）

私が体験しました



長崎経済研究所
調査研究部長
むらた さとし
村田 聡

目前に広がる 「非日常がある日常」

ベランダに出ることも可能で、ゆったりとしたソファに腰掛けて一息つきながら眼下のサッカースタジアムを眺めていると、本当にここは長崎市街中心地なのか？とこれまで味わったことがないような不思議な感覚になります。

私が泊まったのは9階のデラックスタジアムビューツイン。バルコニーに出ると眼下に芝生のピッチが見えるのはもちろん、稲佐山や長崎港まで一望できるロケーションは上層階ならではの眺望であり、一見の価値があります。

室内にあるTVやドライヤー、ベッドに至るまで、多くの家具・家電がジャパネット通販で購入できま。宿泊して実際に使ってみて、気に入ったものがあれば購入できる、いわば体験型のホテルになっている仕掛けは、ジャパネットグループだからこそ実現できる唯一無二の特徴といえるでしょう。

ホテルロビーは地上7階にあり、悠然としていてもエレガントな空間なのですが、視線を横に向けてとすぐ目前にサッカースタジアムが広がっています。大きな窓を開けて

夕食はスタジアムコンコースと行き来ができるブルワリーレストラン



朝食をとる筆者

「THE STADIUM BREWS NAGASAKI」へ。10台の醸造タンクが並ぶ店内は欧米の街酒場の雰囲気を感じられる装飾で、長崎の柑橘ゆづりを使用したフルーティな味わいの「ヴィ・ビール」を美味しく頂きました。長崎スタジアムシティによると、定番から長崎の特産品を用いた長崎ならではの変わり種まで、年間で約100種類のオリジナルクラフトビールを醸造

予定だそうです。試合観戦の有無を問わず、シティ全体を楽しむならば、車で来るよりお酒を飲みながら楽しんだ方が満喫できそうだと十分思わせてくれるブルワリーレストランです。その後、宿泊者のみが利用できる室内プールへ向かいました。サウナやジェットバスも併設されており、小さなお子さん連れのご家族も十分楽しむことができそうです。もち

ろん、どの窓からもスタジアムの眺望が広がっています。また、地下約1,500mから汲み上げた天然温泉も魅力十分です。柔らかい温泉湯をゆつくりと楽しんだ後、休憩室に入ってみると高級マッサージチェアが2台も設置されていて無料で癒しのマッサージを堪能できました。ちなみに、この高級マッサージチェアもジャパネット通販で購入できると聞き、「さすが、すごいな」と思わず声が出てしまいました。

の作業も快適に行えます。試合がない日もサッカースタジアムが開放されているため、気軽に立ち寄ってスタジアムの青々とした芝生を眺めながら仕事をする…。まさに非日常と日常の共存です。せっかくなのでコンコース3階の机に座って、少しばかりリモートワークをすることにしました。今日は何だかとても仕事がかどるような気がしてなりません。今回ご紹介した内容は、長崎スタジアムシティ全貌のほんの一部です。ありふれた言葉ですが、すごい！としか言いようがない世界がここにはあります。皆さんもまずは行って、「非日常がある日常」を感じ取ってみてはいかがでしょうか。

翌朝、身支度を済ませて朝食会場へ向かうと、朝日が差すスタジアムの眺望が迎えてくれました。旬の食材を使用したバラエティ豊かなメニューはどれも美味しそうです。とりわけ、対面キッチンで作り立てを提供してもらえるレモンステーキ丼は格別の美味しさで、きつこのホテルの名物になるでしょう。長崎スタジアムシティでは、ホテル内はもちろん屋内施設やスタジアムコンコースにもフリーのWi-Fi環境が整えられており、パソコンで



コンコースにて(筆者撮影)

Vol.4 北陸編

お城巡り



「日本100名城」は公益財団法人 日本城郭協会が2006年に定めた日本の名城100選です。現在は「続日本100名城」も選定されています。



公益財団法人 日本城郭協会 HP



日本100名城 No.35

芸術と美食の旅

1 金沢城

【住所】石川県金沢市丸の内1-1
【電話】076-234-3800



2020年7月登城、2024年8月再登城。「石垣の博物館」と呼ばれる色彩豊かな石垣と菱櫓(写真①)。それと金沢と言えばコレ!近江町市場で食べた海鮮丼(写真②)と、金沢城公園内でお城を眺めながら食べた金箔ソフトクリーム(写真③)。



金沢城 HP

私がお案内します!



福岡銀行 添田支店 中野 実 支店長

Profile 福岡県北九州市出身。1998年福岡銀行入行。門司支店を皮切りに箱崎、戸畑、総務広報部、宮崎、柳川支店で勤務。2017年バンコク駐在員事務所所長。2018年から大牟田、香椎支店の副支店長を務めたのち、2022年10月から現職。趣味で2019年11月から3年7カ月かけて「日本100名城」「続日本100名城」掲載の200城を踏破。公益財団法人 日本城郭協会から登城認定を受ける。

日本のポンペイ

2 一乗谷城

【住所】福井市城戸ノ内町
【電話】0776-41-2330
(一般社団法人 朝倉氏遺跡保存協会)

2020年7月登城。織田信長に焼き滅ぼされた朝倉家居城のある一乗谷の町並みが、復原町並として整備されており涼を感じる演出も(写真④)。また、シンボルである唐門や手前の小川には鯉も泳いでおり(写真⑤)、広い遺構跡を楽しく散策できた。



一乗谷城 HP



※本ページの掲載内容は訪問当時のものです。
※「日本100名城」は公益財団法人 日本城郭協会が定めた呼称です。



続日本100名城 No.138

3 越前大野城

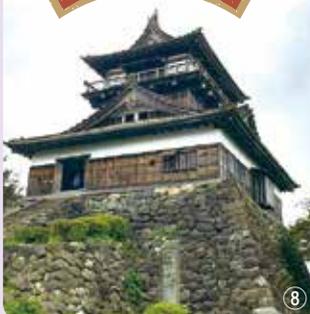
【住所】福井県大野市城町3-109
【電話】0779-66-1111 (大野市観光交流課)

2022年7月登城(写真⑥)。近畿エリア編で紹介した竹田城同様、雲海に浮かぶように見られるシーズンは10月頃～4月末頃... 早朝かつ近くの山からの景色となるので、リタイア後の楽しみとしたい。移動中に立ち寄ったPAで、日本海に沈む夕陽と光の道が綺麗(写真⑦)。



越前大野城 HP

4 丸岡城



北陸唯一の 現存12天守

【住所】福井県坂井市丸岡町霞町1-59
【電話】0776-66-0303
(公益財団法人 丸岡文化財団)

2020年7月登城。現存12天守のうちで北陸唯一、江戸時代以前に建てられた古い建築様式のお城(写真⑧)。城内の階段は傾斜がキツク(写真⑨)、観光目的などで復元されていない戦国時代の荒々しさが伝わってくる。



丸岡城 HP



熊本銀行が 熊本県共同募金会から表彰されました

2024年10月1日(火)、熊本市の下通アーケード内にてANAグループの協力のもと「第63回 赤い羽根 空の第一便伝達式」が行われ、伝達式に先立って共同募金表彰式が執り行われました。



左から熊本県共同募金会 竹崎会長、熊本銀行坂本頭取

熊本銀行は、SDGsへの取り組みの一環としてSDGs私募債(※)を発行するお手伝いをしております。

2024年9月2日(月)、SDGs私募債を発行されたお客さまからいただいた収益金の一部(SDGs私募債発行金額の0・1%)の36万円を社会福祉法人熊本県共同募金会へ寄付し、寄付金贈呈式を実施しました。今回の表彰式は、その寄付に対して熊本銀行が表彰されたものです。

熊本銀行は、今後も持続可能な社会を目指しSDGsにかかわる取り組みを継続してまいります。
(※一定の財務水準を満たした企業が、直接金融による資金調達を目的に発行する社債を私募債といい、SDGs私募債とは、熊本銀行で私募債を発行されたお客さまから頂く収益の一部をSDGsに資する団体等へ寄付する商品です)

Topics of the month

菊陽町×台湾 多文化共生を目指した スポーツ・美食フェスタを開催しました！

2024年11月16日(土)・17日(日)の2日間、熊本銀行は一般社団法人九州台湾商会・株式会社乃村工藝社と共催し、菊陽町総合体育館を活用して台湾の文化やグルメを体験できるコンテンツを揃え、台湾の魅力を肌で感じてもらう「スポーツ・美食フェスタ」を開催しました。

TSMCの進出により、熊本県では、台湾からの移住者や訪日客が急増しています。もともと台湾と日本は友好関係にあります。JASM(TSMCの子会社)がある菊陽町でも、これまで台湾の本場を知ることが出来る機会が多くはありませんでした。そこで、本場の台湾グルメや文化を体験できる機会を創出し、台湾の魅力を肌で感じてもらうために本イベントが企画されました。

本イベントのコンセプトは「菊陽町に関わるすべてのおとなも文化祭」「イベントを通じた多文化共生」となっており、グルメや文化体験、スポーツイベントなど、おとなも子どもも楽しみながら台湾の文化を知ることが出来るコンテンツを準備しました。

スポーツイベント会場となったメインアリーナでは、3オン3

大会やナインフープ体験、バブルサッカー体験など様々なスポーツ体験の場を提供。台湾の方や地域の方、老若男女かわらず体験できるスポーツで交流を深めました。

グルメでは、台湾と地元企業から、多くの飲食店が出店し、お互いの食文化を知る機会となりました。他にも、台湾茶体験会や台湾の民族衣装での写真撮影会など、来場者が台湾の文化を体験できるイベントも実施し、楽しみながら台湾の魅力を感じていました。

2日間を通して多くの来場者が訪れ、これから親交を深めていく台湾への興味の高さが感じられるイベントとなりました。

今後も熊本銀行は、大きな変革を迎える熊本県の自治体と連携し、地域活性化に資する取り組みを積極的に進めてまいります。



オープニングセレモニーのテープカット



キッズシアのステージパフォーマンス



3オン3会場



大盛況のグルメブース



台湾夜市で親しまれているバルーン射的



ナインフープでピンゴを狙う来場者



羽根を落とさないように蹴り続ける台湾の遊び「ジェンズ」



イベント関係者の集合写真

Topics of the month

学びとネットワーク形成の場 「2024年度FFG経営塾」閉幕！

グロース・ワン

今年度、初めて会場をGROWTH Iに移して開催した「2024年度FFG経営塾(旧:FFG次世代経営塾)」は、盛況の中、無事閉幕いたしました。

「FFG経営塾」はFFG(福岡、熊本、十八親和銀行)のお取引先企業の経営者や後継者、現役幹部の方々を対象に、経営に役立つ知識の習得と、参加者同士のネットワーク作りを目的としたビジネススクールです。今年度は2024年7月から約4ヶ月間、学びの場と参加メンバー同士や講師との交流・情報交換ができる場を提供してまいりました。

最終回はオフィスPDCCA代表 蒲田 善行氏に「組織マネジメント」というテーマで、経営者として必要な組織全体のマネジメントについて講義いただきました。一流の講師陣によるセミナー全6回を終え、受講者からも「組織全体のマネジメントの重要性及び現状の反省にもつながり、大変有意義な講義でした」「日々の業務だけでなく、考え

方や判断基準にも役立つ研修でした」ととてもよいセミナーでした。多くのことを思い出し、気づきを得ることができました。など研修を振り返り、自身の成長につながったとのコメントをいただきました。

講義後は、ザ・リッツ・カールトン福岡で懇親会を行い、講師の蒲田氏をはじめ、各行の営業

統括部長、ご参加いただいたお取引先の各支店長や担当行員、本部行員も参加し、業種、県域を超えた交流で親睦を深めていただきました。

閉講にあたり、熊本銀行執行役員 営業推進部 若松部長より受講生に向けて、本塾で学ばれたことやFFG、受講生とのネットワークを活用し、今後の



福岡銀行 井崎部長による閉講挨拶



蒲田善行氏



GROWTH Iでの講義の様子

益々のご活躍を期待されること
が示されました。

FFG 経営塾を無事終了す
ることができましたのも、ご参
加いただいた皆さまのおかげで
ございます。誠にありがとうございます
ございました。

FFGは今後も「あなたとい
ちばんに。」のスローガンのもと、
将来を担う地元経営者や経営
幹部の方々のために有益な情
報、サービスの提供に努めてま
います。



熊本銀行 若松執行役員による挨拶



ザ・リッツ・カールトン福岡での懇親会



参加者同士や行員との交流が盛んにおこなわれた懇親会

2024年度FFG経営塾 開催概要

日程	テーマ	内容	講師
第1回: 7月25日	人を動かす経営	人を動かすことについて経営者として必要な視点を学ぶ	CNGWAY パートナー カーネギー・グローバル・マスター・トレーナー 石原 由一朗 氏
第2回: 8月9日	人材マネジメント	人材育成において、経営が果たす役割について学ぶ	アサヒグループホールディングス 社外取締役 佐藤 千佳 氏
第3回: 8月29日	リーダーシップ	経営に求められるリーダーシップについて学ぶ	日本生産性本部 主席経営コンサルタント 中間 弘和 氏
第4回: 9月19日	コンプライアンス	コンプライアンスの最新動向を学ぶ	長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士 深水 大輔 氏
第5回: 10月3日	事業開発	新たな事業価値を創造する考え方、方法について学ぶ	九州大学 経済学研究院 教授 高田 仁 氏
第6回: 11月8日	組織マネジメント	経営として必要な組織全体のマネジメントについて学ぶ	オフィスPDCA 代表 蒲田 善行 氏

Topics of the month

九州最大級のスタートアップイベント 「StartupGo!Go!」が開催されました!

2024年10月9日(水)～10日(木)、大名ガーデンシティで九州最大のスタートアップイベントを開催しました。

スタートアップを盛り上げる イベントの開催

10月9日(水)～10日(木)、九州最大のスタートアップイベント「StartupGo!Go!」が開催されました。

今年で11回目の開催となる本イベントには、福岡から、そして全国・アジアから3,000人以上が集まり2日間にわたって創業特区福岡を盛り上げました。

FFGメインセッション

初日にFFGメインセッションとして「福岡スタートアップシティの未来を創る! 地域企業の挑戦と展望」という題目で、モデレーター役のGoogleの堂田^{どうだ}文明氏、パネリスト役として西日本鉄道株式会社の林田社長とともにFFG五島社長が登壇しました。



FFGメインセッション
左からユーモ、堂田氏 (Google)、五島社長、林田社長 (西日本鉄道株式会社)、フェレット

成長を続ける福岡で、それぞれの企業を取り組む施策の紹介があり、最後に福岡がアジアナンバーワンの街になっていくため五島社長から「林田社長の施策のおかげもあって福岡は本当に魅力的な街になってきているから、そこに人が集まり、お金も回るようになる。金融の世界でいうとヒトとモノとお金循環する社会が必要。投資家の人、起業したいスタートアップの人が集まり、そこで街がもっと豊

かになって、お金も回る地域社会を造っていきたい」と会場の参加者に福岡の明るい未来を創造するメッセージを伝えました。

キューテック2024年度 研究開発助成金・贈呈式

福岡銀行が創立40周年を記念して設立した一般財団法人ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団(以下、キューテック)による、研究開発を行う大学



キューテック助成金贈呈式の参加者の集合写真
前列左から4人目がキューテック松延常務理事

や地域の技術指向型ベンチャー企業・中小企業への寄付金贈呈式が執り行われ、「大学・高専部門」では6大学、「中小・ベンチャー部門」では5社が採択されました。

助成金贈呈式では、キュレーター松延常務理事（FFGベンチャービジネスパートナーズ/常務）から助成金の贈呈が行われた後に、各大学・企業の取り組みの説明が行われ、今後の革新的な技術に期待が高まりました。

GROWTH Iで地域企業とのセッションを開催

GROWTH Iでは地域企業とコラボしたセッションが開催



地域企業×事業承継セッションの様子
左から、山岸所長（一般社会福祉法人ベンチャー型事業承継）、藤井社長（株式会社増田桐箱店）、中嶋専務（株式会社M・ZEC）

されました。

事業承継、デジタル化、人材戦略などの専門的な領域について



地域企業×デジタル化セッションの登壇者
左から植木主任調査役（福岡銀行）、河原氏、渡邊部長（サイボウズ株式会社）



地域企業×人材戦略セッションで登壇した里原部長（株式会社ビジネスリファイン）



地域企業×人材戦略セッションで登壇した加地社長（株式会社YOLO JAPAN）

て、課題解決の事例やトレンドなど、有益となる情報を聞きに多くの方が来場されました。

StartupGo!Go! ThePitch ピッチコンテスト&表彰式

本イベントの主役でもある多くのスタートアップ企業がピッチコンテストに参加し、「StartupGo!Go!」では、会場スタートアップ企業31社がアイデアや技術を発表しました。

今回のピッチコンテストでは初日に大名カンファレンスにてセミファイナル、2日目に大名ガーデンシティ特設会場でファイナルが行われました。

ピッチコンテストでは、優勝のほか13社からの企業賞が準備されており、それぞれの企業から選ばれたスタートアップ企業が企業賞を授与されました。

ピッチコンテストの栄えある優勝は、株式会社HKS K（ハクシキ）が選ばれ、五島社長から表

彰が行われました。

FFGは、今後もネットワークを活かしたスタートアップ企業のビジネスチャンスの機会創出や、会場企業とマッチング機会の提供などを通じたオープンイノベーションの促進に取り組んで参ります。



StartupGo!Go!の表彰式
左から五島社長、赤木社長（株式会社HKS K）



表彰式の集合写真

デジタルテクノロジーを活用した業種横断型ビジネスコンテスト 「X-Tech Innovation 10th Anniversary」 九州地区最終選考会を開催!

2024年11月26日(火)、FFGは株式会社北海道銀行、株式会社岩手銀行、株式会社七十七銀行、株式会社沖縄銀行と共催する、デジタルテクノロジーを活用したサービス・アイデアを発掘するビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 10th Anniversary」の九州地区最終選考会を開催し、受賞企業が決定しました。



最優秀賞を受賞した株式会社Dots forの大場カルロス社長

10回目の開催となる今年度は全地区共通テーマ『地域を拓くエマージングテクノロジー』と、九州地区オリジナルテーマ『WEB3が目指す未来』の応募テーマのもと、地域経済の発展に貢献する革新的なサービスやビジネスアイデアを募集しました。数多くの企業から応募があり、1次選考(書類)、2次選考(面談)を経て選出された11社によるピッチコンテストが行われました。審査の結果、未通信地域アフリカの農村に通信・DX化した「デジタルコンビニ」を展開し、外貨獲得と格差解消を実現するサービスについてプレゼンテーションを行った株式会社Dots for(CEO 大場カルロス)が九州地区の最優秀賞に選出されました。なお、2025年1月15日(水)には、各地区の受賞者によりピッチを行うグランプリファイナルを「Tokyo Innovation Base(東京都)」にて開催を予定しております。

FFGでは、今後もデジタルテクノロジーを活用したサービス・アイデアの事業化支援や、地場企業とスタートアップ企業とのマッチング機会の提供などを通じて、オープンイノベーションの促進に取り組んで参ります。



登壇者・審査員のみなさま



五島社長の開会挨拶



合同会社ノーエン



SUSHITOPMARKETING株式会社



株式会社ファボテクノロジーズ



株式会社クリプトリエ



株式会社BANKEY



株式会社Bashow



株式会社ヒュージョン



未来工藝研究所



株式会社corte



VxTech株式会社

■ [X-Tech Innovation 10th Anniversary] の九州地区最終選考会登壇企業（登壇順）

【共通テーマ】地域を拓くエマージングテクノロジー

会社名	サービス概要
株式会社corte	AI業歴作成支援サービス「corte（コルテ）」
VxTech株式会社	犯罪から未然に子どもと地域を守る「SASENAI（サセナイ）」
未来工藝研究所	kumikoAI - 生成AIを用いた組子特化型webサービス-
株式会社Bashow	動的な地域トピックの案内サービス
株式会社ヒュージョン	非接触型AIバイタルサイン測定・管理システム
<優秀賞>株式会社BANKEY	外国人労働者向けデジタル口座開設サポート
株式会社ファボテクノロジーズ	パーソナライズAI英会話アプリ「DAIAL -ダイアル-」

【地区テーマ】WEB3が目指す未来

株式会社クリプトリエ	NFTマーケティングで切り開く地域経済の発展・MintMonster
<最優秀賞>株式会社Dots for (※Zoom登壇)	未通信地域アフリカのWeb0 to Web3通信トークンエコノミー
合同会社ノーエン	AgriColorで農産物をもっとおいしく、楽しく
<特別賞>SUSHITOPMARKETING株式会社	NFTスタンプラリーから始まる地域共創プラットフォーム

ご興味のある企業がございましたら「x-tech2024@ibank.co.jp」へお問い合わせ下さい

ビッチコンテストの様子は特設サイトにて、アーカイブ配信しております。



Topics of the month

ふくぎん本店広場 冬のイルミネーション点灯式を開催

FFGは、「天神の冬の風物詩」として親しまれる冬のイルミネーションの点灯式を行いました。



点灯の際はユーモがスイッチオン

FFGは、2024年11月29日(金)、福岡市中央区天神のふくぎん本店広場でイルミネーション点灯式を開催しました。

九州大学芸術工学部バンド、西南学院中学校・高等学校合唱部、Bankピアニスト徳永哲也、福岡銀行軽音楽部による演奏が行われ、クリスマスソングを

メインとしたステージで点灯式に華を添えました。カウンタダウンとともにFFGのブランドキャラクター「ユーモ」がスイッチを入れると、天神の夜に綺麗なイルミネーションが輝きました。

優しく煌めくイルミネーションの温かな光は、2025年1月13日(月・祝)まで天神の街を包んでくれます。



西南学院中学校・高等学校合唱部



九州大学芸術工学部バンド



福岡銀行軽音楽部



Bankピアニスト徳永哲也

あなたを取り巻くモノやコトは
日々変化し続けるけれど
一日一日を大切に歩むあなたへの
エールの光はいつも変わらない。
まっすぐに見上げればやさしく降り注ぎ
あなたの明日を光に包む。
希望と勇気を込めた、光のツリーをあなたへ。

あなたのいちばんに。

イルミネーション点灯期間

2024年

2025年

11月29日(金) → 1月13日(月・祝)

点灯時間 / 17:00~23:00

場 所 / ふくぎん本店広場

あなたのいちばんに。
FFG 福岡フィナンシャルグループ

お問い合わせ ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団
TEL.092-723-2805

FFG × LANDIC

Woman's Wellness Project



FFG公式YouTubeチャンネルで新たなコンテンツ配信を開始しました！



FFGと株式会社LANDICホールディングスは、
健康・美容・仕事・お金・家族など、女性を取り巻くさまざまなテーマの情報を発信しながら、
ウェルビーイングな暮らし方を共に考えていきます。



第1回のテーマ

記念すべき第1回のテーマは「Woman's Wellness Projectとは?」です!

ぜひFFG公式YouTubeチャンネルから
チェックしてみてください!

YouTubeは
こちら



concept

金融を軸としながら、地域経済や人々の暮らしを支えてきたふくおかフィナンシャルグループ。住まいを軸としながら、ここちよい暮らしの場所やシーンを提案してきたLANDIC。

わたしたちは「福岡を中心に人々のこれからの暮らしを考える」という点で共感しました。その一つが、あらゆる人が自分らしく生きられる社会を実現するため、女性にとってのよりよい暮らし方や考え方について、発信をすること。

わたしたちは日々、社会や環境のさまざまな変化と向き合っています。Woman's Wellness Projectは、そんな変化の中で、たくましくしなやかに生きる、ウェルビーイングな女性の暮らし方を共に考えるプロジェクトです。

九州の星
Star of Kyushu

| 92 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです

地域医療のために今できることを。

本誌「トップに聞く」(2020年10月号)で長崎大学の学長在任中に登場した河野茂さん。2023年9月、2期6年間の任期を終え、その去就が注目される中、意外にも臨床の非常勤医という道を選びました。なぜ今、再び臨床の現場に戻る決断をしたのでしょうか？
河野さんを訪ね、これまでの歩みも併せて深く掘り下げました。

国立大学法人長崎大学
名誉教授 前学長
学長特別顧問

河野茂氏
こうの しげる



▲お母様と3兄弟(中央で勉強しているのが本人)



▲ふっくらして可愛い3歳の河野さん



▲3番目の弟が生まれる前の家族写真

学長退官後は 地域医療のために

私は73歳で6年間務めた長崎大学の学長を退官しました。学長の前は長崎大病院院長や医学部長も務めていましたので、退官後は企業や団体から経営や管理職についてほしいというお声をいただきました。しかし、私は「もう常勤職には就かない」と宣言し、断りました。なぜなら、「臨床医として地域の人に向き合いたい」という思いがあったからです。

私が生まれ育ったのは、長崎県のほぼ中央、焼き物で有名な波佐見町です。父は第二次世界大戦中パイロットをしていましたが、終戦後は地元に戻り中学の教師になりました。母は神戸女子薬学専門学校(現…神戸薬科大学)を卒業して薬剤師になりました。当時は女性で薬剤師にまでなる人は少ない時代でした。教育熱心な母は薬局の仕事が忙しい中、私たち3兄弟の勉強を見てくれました。

中学校では数学や理科が得意でした。また、英語も好きで、この頃からラ

ジオの基礎英語を毎日欠かさず聴くようになり、「将来は外国に行ってみたい」と憧れを抱くようになりました。

高校は長崎県立佐世保南高等学校へ進学しました。高校生になると医者への道を考えるようになりました。というのも、父方の祖父が医者で、地元で河野医院を開業していたからです。祖父の長男は医者になったものの戦死し、三男である私の父は軍人になったので医院を継ぐ人がいなかったのです。

開業医になるはずが 感染症の研究の道へ

開業医になるために長崎大学医学部に入り、大学院卒業後は留学も経験しました。30代半ばで、長崎大学の教授から「教員として大学に戻って感染症の研究を一緒にしないか」と声をかけられました。大学に戻ったものの、本来、感染症は細菌学やウイルス学を学んだ人が研究すべき分野です。門外漢の私ができることは何だろうか。考えた先が、真菌(カビ)の感染症でした。まさにゼロからのスタートでし

たが、覚悟を決めて取り組みました。おかげさまで感染症の研究を続けて40年以上になりますが、多くの成果を残すことができました。

教授になった後は、医学部長や長崎大病院院長を歴任し、長崎大学長を務めました。

※学長時代の取り組みは「トップに聞く」バックナンバーをご覧ください



学長時代は、学生との対話を大切に、月1回、学生と生協の食堂でランチを楽しみました。コロナ禍で学生と語り合えない時期は、学生に向けてメール



▲米国ニューメキシコ州立大学医学部へ留学。右端が河野さん

でメッセージを送りました。退官する時にはたくさんの方が集まって門出を祝ってくれたことがいい思い出です。

臨床医として幅広く診療

地元に戻って開業医になることは叶いませんでしたが、一番下の弟が波佐見で開業医になつています。「学長退任後は臨床医として地域の人に向き合いたい」と思っていたところ、医学部の後輩で北松中央病院（長崎県佐世保市）理事長の東山康仁（ひがしやま やすひと）さんから「外来を担当しませんか」と誘いがあつたのです。現在では、2週間に2日、長崎市から通つて診療を担当しています。わからないことがあつたら長崎大学の後輩教授に電話一本で聞いています（笑）

また2週間に半日、長崎市内の長崎百合野病院でも外来を診ています。私の専門は呼吸器内科や感染症ですが、外来では生活習慣病をはじめ、幅広く一般内科を診ています。

それからレメディ・アンド・カンパニー株式会社では顧問として、公益財団法人

人日本感染症医薬品協会では常務理事を務めています。感染症学の知見が生かせるのでありがたいです。

トレーニング、ゴルフ、書道、歌、趣味も充実

趣味が多いので忙しい日々を送っています。中学時代に始めたラジオの英語学習は今も継続しています。今はラジオアプリがあるので、1日数時間の放送を1.5倍速で聞いています。

医学部長時代シングルプレーヤーだったこともあり、大のゴルフ好きです。30年以上前から国内外のコースでデータを収集し、スコアの改善に役立てています。

書道についても、ほぼ毎日書いていて、週1回、先生のところで見てもらっています。年に2回、書道展に出品します。

歌うことも大好きで、ポピュラーミュージックが専門です。東日本大震災をきっかけに福島から長崎に移住された奥山典子（おくやま のりこ）先生のもとで2週間に

1回、ボイストレーニングを受けています。長崎大学長時代にはミュージックビデオを作成しYouTubeにアップしました。

私の人生は傍から見ると順風満帆に見えるかもしれませんが、しかし、自分のなかでは紆余曲折ありました。だからこそ言えるのは、人生はいろいろ経験した方が面白いです。夢を持っている人は挑戦してほしい。世の中はうまくいかないことが多いです。挫折や失敗してもいい。夢や挑戦する気持ちはずっと持ち続けてほしいです。

KOHNO Shigeru

1950年生まれ。長崎県波佐見町出身。医学博士（長崎大学）。1974年3月長崎大学医学部卒業、同大学医学部附属病院第二内科入局。1980年同大学大学院（病理学）卒業後、1982年まで米国ニューメキシコ州立大学医学部病理学教室に留学。帰国後、長崎大学医学部附属病院に戻り、佐世保市立総合病院、長崎市立病院成人病センターでの勤務を経て、1985年長崎大学医学部助手、1990年講師、1996年教授となる。2000年同大学大学院医学研究科感染分子病態学講座教授。2006年長崎大学医学部長、2009年理事・病院長、2014年理事・副学長を歴任し、2017年10月から2023年9月まで長崎大学学長。専門は呼吸器感染症。現在は、非常勤医として北松中央病院や長崎百合野病院で外来診療を行いながら、レメディ・アンド・カンパニー株式会社の顧問、公益財団法人日本感染症医薬品協会の常務理事も務める。



冬季企画展 Juhachi-Shinwa Art Gallery Winter Exhibition

紙と表現

2024
12/13
[金]
↓
2025
3/8
[土]



北村 綱義《スペインの夜》

十八親和アートギャラリーでは、12月13日(金)から季節展示室と絵画展示室1に於いて冬季企画「紙と表現」を開催しております。私たちの暮らしに身近な素材である紙は、絵画をはじめとする美術作品でも古くから親しまれてきた素材のひとつです。本展では、棟方志功の肉筆画や山下清の貼り絵のほか、郷土ゆかりの旭達文、田川憲の版画、北村綱義のパステル画など、紙に表現された8作品をご紹介します。

また、陶磁器展示室2では、陶磁器小企画「煌めく釉薬」を2025年3月1日(土)まで開催しているほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

十八親和アートギャラリー

鑑賞 無料

【開館時間】10:00~16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

北村 綱義(きたむらじなよし)：1909〜2006。長崎県佐世保市生まれ。太平洋美術学校に学ぶ。1936年文展監査展入選、37年第一回新文展入選(以後、38年、42年入選)。58年から約2年渡欧してパリ郊外にアトリエを構え、色彩研究を行う。国画会を中心に活躍し、油彩画、パステル画による色彩豊かな作風で人気を博す。長崎県展実行委員長、審査員を歴任。地域文化功労者文部大臣表彰など受賞歴多数。